

『祠部職掌雜纂 諸門跡御續書』

凡例

- 一 本稿では、静嘉堂文庫所蔵二〇三四『祠部職掌雜纂御門跡系図』（四三／五〇四 二〇）を翻刻した。ただし、本稿の標題は、後に述べる理由で青山文庫本の標題「諸門跡御續書」を採用した。
- 一 各丁の表裏を、末尾に「一オ」「一ウ」「一オ」…のごとく表記した。白紙の面は、この記号のみ記す。

藩法研究会 丹波篠山班

橋本 久
牧田 勲
山田 勉

- 一 適宜、読点を施した。
- 一 各門跡ごとに仮番号を付した。
- 一 「」は編者の注記である。
- 一 本書の複写・翻刻を許可いただいた静嘉堂文庫の関係者各位に深謝する。
- 一 翻刻および解題は、ひきつづき橋本が担当した。

〔表紙〕



縦 26.5 cm × 横 19.7 cm

請求番号二〇三四四／四三／五〇四 二〇
 (小口書には「神部 御門跡系圖」とある)

〔目次〕

〔朱印〕

静嘉堂現蔵

〔朱印〕

之大斌
 書河々
 籍内書
 章氏屋

1
 輪土寺宮

9 8 7 6 5 4 3 2

聖護院宮
 青蓮院宮
 知恩院宮
 一乘院宮
 仁和寺宮
 妙法院宮
 梶井宮
 曼殊院宮

〔朱印〕

高崎文庫

〔朱印〕

神部

〔一〇〕

〔一〇〕

桃園院皇子
 輪王寺一品公延法親王 西二十八

一 御實父 閑院太宰帥典仁親王

一 御實母 故壽宮

一 御甥 當今

一 同 聖護院宮

一 御姪 女一宮

〔一〇〕

一	御兄	一	乘院宮
一	同	一	仁和寺宮
一	御弟	一	妙法院宮
御実方			
一	御兄	閑院彈正尹宮	
一	同	仁和寺一品宮	
一	同	妙法院宮	
一	御弟		
一	同		
一	同	當今	
一	同		
一	同	聖護院宮	
同			
一	御妹	靈鑑寺孝宮	
一	御伯父	青蓮院宮	
御実方			
一	御伯父	鷹司閔白輔平公	
一	御伯母	仙洞御所	
御実方			
一	同	三時知恩寺	

二三〇

[illegible]

御実方

一 御兄

伏見嘉祿宮

〔四才〕

同 一 御妹

多哉宮

一 御伯父

一乘院宮

一同

仁和寺宮

一同

輪王寺宮

一同

妙法院宮

御実方

一 御伯父

青蓮院宮

〔四乙〕

桃園院御猶子

一 御伯母

林丘寺宮

御実方

一同

東本願寺門跡室

千代宮

一同

廣幡故前内府前豊公御簾中

解脱香院宮

一同

一同

徳川宮内卿殿御簾中

田鶴宮

一同

専修寺門跡室

賀傳宮

右之通御座候以上、

〔五才〕

輪王寺宮御内

吉川中務卿

吉川式部卿

乙葉淡路守

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

中村大膳殿

久我大納言様御内

辻信濃守殿

岡本内記殿

右之通相違無御座候以上、

〔五乙〕

輪王寺宮御留守居

寛政元己酉年六月

大沢要人 印

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

中村大膳殿

久我大納言様御内

辻信濃守殿

岡本内記殿

〔六才〕

〔六乙〕

後桃園院第二皇子

聖護院二品盈仁法親王 酉十八

一 御母

盛化門院

一 御曾祖母

大女院御所

一 御祖母

女院御所

一 御連枝

今上皇帝

一 同

女一宮御方

〔七才〕

一 同

後桃園院御養子

住宮御方

輪王寺宮御附弟

一 同

同

靈鑑寺孝宮御方

一 御叔父

桃園院御養子

仁和寺一品深仁法親王

一 同

同

輪王寺一品公延法親王

一 同

同

一乘院二品尊英法親王

一 同

同

妙法院二品真仁法親王

桃園院御猶子

有栖川織仁親王

〔七才〕

一 同

一 同

閑院彈正尹美仁親王

一 御叔母

林丘寺宮

同

一 御伯父

近衛右大臣經熙公

一 同

近衛准后内前公御子
大覺寺御門跡

一 御從弟

近衛右大臣經熙公御息男
道君御方

一 同

同御息女

姫君御方

〔八才〕

一 同

同御息男

永君御方

一 同

同御息男

學君御方

盈仁法親王御実方

一 御父

閑院太宰帥典仁親王

一 御母

家女房

一	御兄	閑院彈正尹美仁親王	〔八之〕
一	同	桃園院御養子 仁和寺宮	
一	同	同 輪王寺宮	
一	同	同 妙法院宮	
一	御姉	靈鑑寺宮	
一	御伯父	鷹司閔白輔平公	
一	御伯母	桃園院御猶子 林丘寺宮	
一	同	近衛故閔白家久公御猶子 三時知恩寺	〔九才〕
一	御從弟	鷹司内大臣政熙公	
一	同	鷹司閔白輔平公姫君 達君	
一	同	同 有栖川中務卿親王御簾中 房君	
一	同	鷹司閔白輔平公御息男 大乘院御門跡	

一	同	同 三寶院御門跡	
一	同	同姫君 興君	
一	同	同 前君	〔九乙〕
一	同	同御息男 蓮華光院奈君	
一	同	同 守君	
一	御姪	閑院尹宮姫宮 裕宮	
右之通御座候以上、			
聖護院宮御内			
寛政元年酉六月			
小野沢按察使 印			
藤木 伊勢守 印			
〔九才〕			
万里小路前大納言様御内			
山本式部殿			
中村大膳殿			
久我大納言様御内			
辻信濃守殿			

岡本内記殿

〔一〇才〕

桜町院皇子

青蓮院一品尊真法親王 酉四十七

実故一品兵部卿貞建親主御息

御母 開明門院御方

御連枝 仙洞御所

御伯母 大聖寺宮

御甥 仁和寺宮

一同 一乘院宮 〔一才〕

一同 輪王寺宮

一同 妙法院宮

御實方 伏見兵部卿宮

御連枝 千代宮

一同 東本願寺門跡御室

府 解脱倉院宮

一同 廣幡故前内大臣前豊公御簾中

一同 徳川宮内卿殿御簾中 田鶴宮

一同 伏見故貞建親王御養女賀傳宮 〔一才〕

御實方 専修寺門跡御室

御甥 伏見兵部卿宮御嫡男

嘉祿宮

一同 伏見兵部卿宮御次男佳宮

御外戚 輪王寺宮御附弟

一同 御叔父 石山前大納言基名卿

一同 御從弟 姉小路中納言公聡卿

一同 石山前大納言基名卿男 石山三位基陳卿

右之通御座候以上、 〔一才〕

青蓮院宮御内

寛政元年六月 梅嶋織部正 印

鳥居小路式部卿 住府二付

隠岐大輔 印形不仕候

大谷治部卿 印

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

4

知恩院

中村大膳殿
久我 大納言様御内
辻信濃守殿
岡本内記殿

〔二二乙〕

右者、天明八申年七月廿一日薨去、當時御無住
委鋪者占帳三右之、

〔二三乙〕

〔二三乙〕

桃園院皇子

一 乘院二品尊英法親王 西四十二

一 御祖母

大女院御所

一 御母

女院御所

一 御實父

京極故式部卿家仁親王

一 御實母

家女房

一 御連枝

後桃園院 崩御

〔二四乙〕

一 同

仁和寺宮

6

一 同

輪王寺宮

一 同

妙法院宮

御實方

一 同

知恩院宮

薨去

一 同

有馬中務大輔室死

登輿宮

一 御伯父

青蓮院宮

一 同

知恩院宮 薨去

〔二四乙〕

一 御伯母

仙洞御所

御実方

一 同

專修寺故門跡室 死

一 御姪

女一宮

一 御甥

當今

一 同

聖護院宮

〔二五乙〕

〔二五乙〕

桃園院皇子

仁和寺入道一品深仁親王 西御三十一

一	御實父	閑院太宰帥典仁親王
一	御兄	一乘院宮
御実方		
一 同		閑院彈正尹美仁親王
一 御弟		輪王寺宮
同		
一 同		妙法院宮
同		
一 同		聖護院宮
同		
一 御妹		靈鑑寺孝宮
一 御伯父		青蓮院宮
御実方		
一 同		鷹司閔白輔平公
一 御伯母		仙洞御所
御実方		
一 同		三時智恩寺
一 御伯母		林丘寺宮

二六乙

同	一	同	一	同	一	同	一	同	一	同	御実方	一	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	御從弟	公方様			女一宮	當今様	大聖寺宮
興姫君 <small>太政大臣</small>		三寶院御門跡	大乘院御門跡	有栖川宮御簾中	伏見宮御簾中	鷹司内大臣政熙公				裕宮				

一同
前姫君

蓮花光院本君

二七〇

右之通御座候以上、

御室御所御内

寛政元酉年六月

神原伊豆守 印

長尾宮内卿 印

芝築地中務卿 印

大谷治部卿 印

鳴瀧兵部卿 印

上橋大藏卿 印

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

中村大膳殿

久我大納言様御内

辻信濃守殿

岡本内記殿

二八〇

二八〇

妙法院宮

桃園院御養子

二品真仁親王 酉御二十三

一同 御實父

一同 御實母

一同 御兄

一同

御実方

一同

一同

一同

一同

一同

一同 御弟

一同

一同

一同

一同

一同

閑院太宰帥典仁親王

故籌宮

後桃園院

一乘院宮

閑院彈止尹美仁親王

二九〇

仁和寺宮

故輪王寺新宮

輪王寺宮

聖護院宮

曼殊院精宮 薨去

經宮 薨去

実相院健宮 薨去

靈鑑寺

二九〇

一	御姥	孝宮
一	御伯父	青蓮院宮
一	同	知恩院宮 薨去
御実方		
一	同	鷹司閔白輔平公
一	同	隨宜樂院宮 薨去
同		
一	同	聖護院准后宮 薨去
一	御伯母	仙洞御所
御実方		
一	同	大聖寺宮
一	同	光照院宮 薨去
一	同	林丘寺宮
同		
一	同	三時知恩寺殿
一	御甥	禁裏御所
一	御姪	女一宮

〔一〇七〕

[illegible]

三二ウ

妙法院宮御内
菅谷中務卿 印
寛政元酉六月

万里小路前大納言様御内

山本式部殿

中村大膳殿

久我大納言様御内

辻信濃守殿

岡本内記殿

梶井永宮 申御年貳歲

「三二ウ」

〔三三才〕

一
御父

有栖川中務卿織仁親王

御母

房君御方
鷹司閔白輔平公姫君

御兄

有栖川若宮

御姉

字希宮

同

同宮

同

中宮寺淑宮

御弟

清宫

同

龜代宮

御伯父

鷹司内大臣政熙公

同

大乘院御門跡

同

三寶院御門跡

同

蓮華光院本君

同

專修寺御門跡

御伯母

知足院宮佛光寺故御門跡御内室

同

恭宮 近衛右大臣經熙公御簾中

司

達君
鷹司閔白輔平公姫君

司

興君
[同]

司

前君
同
〔三四才〕

茂姫君様
近衛右大臣経熙公御子

姬君
同

通君
同

永君
同

甸君
同

学君
同

永君 鷹司内大臣政熙卿御子

夙君同

衮君
同

嘉祿宮伏見兵部卿邦賴親王御子

章宮
同

多哉宮
同

佛光寺御門跡

他壽丸
仙光寺故御門跡御子

慶姫
同

幸姫
同

俊姬
同

一
同

一
同

同

9

右安永八年六月九日薨去、當時御無住委敷儀者

古帳二有之、

[三六才]

三六ウ

10

11

12

13

14

15

[二七才]

「三セウ」

一	御祖父	大覚寺御門跡前大僧正 諱寛深 西五十五
一	御祖母	後水尾院皇女 常子内親王
一	御父	故入道准三宮家熙公
一	御母	家女房
一	御兄	故准三宮家久公
一	御姉	東本願寺入定聚院後室 二八才
一	御伯母	天英院様 故准三宮家久公御嫡男
一	御甥	関白大政大臣内前公
一	御姪	右同断姫君 田安故中納言殿御簾中
一	同	尾張中納言殿御簾中 二八才

一	御祖父	大乗院操君 西五
一	御祖母	閑院故直仁親王 家女房
一	御父	鷹司右大臣輔平公 家女房
一	御母	鷹司右大臣將政熙卿
一	御兄	鷹司右大臣輔平公御子 三寶院理君 二九才
一	御弟	同姫君
一	御姉	達 君
一	同	房 君 同
一	同	琴 君 同
一	同	興 君 同
一	御伯父	閑院太宰帥典仁親王
一	御伯母	三時智恩寺 林丘寺宮 二九才
一	御叔母	大納言家基卿
一	御從弟	閑院彈正尹美仁親王
一	同	

同	同	同	同	同	同	同
仁和寺深仁法親王 良宮 輪主寺宮御附弟	妙法院時宮	孝宮	祐宮	梶井寬宮	曼殊院精宮	鏗宮 薨去
〔三〇六〕						
祖父 三寶院理君	祖父 閑院故一品直仁親王	祖母 家女房				
父 櫻町院御猶子 一條故准后兼香公御養子		母 鷹司右大臣輔平公				
兄 鷹司右大將大納言政熙卿		兄弟 鷹司右大臣輔平公御子				
姉 達君		同姫君				
房君 同						

[illegible]

一	祖父	教興院前大僧正光圓	遷化
一	准祖母	九條惟村院太閤幸家公姫君 貞梁院	薨
一	繼祖母	八條桂光院智仁親王姫宮 珠香院	同
一	父	播州龜山本徳寺隱退 考槃院大僧都照尊	死去
一	實母	家女房	卒
一	兄	播州龜山 本徳寺大僧都寂宗	死去 〔三三才〕
一	室	信解院前大僧正光常息女 誠心院	逝去
一	伯父	九條左大臣尚実公御猶子 九條後往生院前左大臣兼晴公御猶子 信曉院前大僧正光常	逝去
一	同	河州久宝寺村顯證寺 理照院大僧都圓證	死去
一	姨	榮儀院	死去
一	同	興正寺僧正良尊室	死去
一	從弟	九條後洞院前関白輔實公御猶子 信曉院前大僧正光啓	遷化 〔三三才〕

一	同	九條後東光院前内大臣植基公御猶子 信行院大僧都光雄	隱退
一	同	九條後洞院前関白輔實公御猶子 瑞香院	逝去
一	同	興正寺僧正常順室	死去
一	同	興正寺僧正常順後室	死去
	御養父方		
一	祖父	九條後往生院前左大臣兼晴公御息男 信順院前大僧正光澄	遷化 〔三四才〕
一	祖母	信解院前大僧正光常息女 瑞香院	逝去
一	養父	九條後洞院前関白輔實公御猶子 信曉院前大僧正光啓	遷化
一	養母	閑院一品宮摩尼淨院直仁親王姫宮 光曉院	薨去 〔三四才〕
一	祖父	九條左大臣尚実公御猶子 本願寺前大僧正光暉	西三十四歳 死去
一	考槃院大僧都照尊		死去

13

一	祖母	家女房	卒
一	父	本願寺前大僧正光蘭	
一	母	誠心院	逝去
一	室	二條後敬信院前右大臣宗基公 五千君	逝去 〔三五才〕
一	嫡子	義千代丸	
一	舍弟	河州久宝寺村 顯證寺大僧都闍教	
一	伯父	本德寺大僧都寂宗	死去
一	伯母	興正寺僧正常順室 信姫	〔三五才〕
近衛関白内前公御猶子			
本願寺前大僧正光遍 酉三十四歳			
一	祖父	九條関白幸家公御猶子 泥沮院前大僧正光晴	遷化
一	祖母	一條関白昭良公姫君 光臺院	逝去
一	養祖父	近衛大閣基熙公御猶子 無碍光院前大僧正光海	遷化
一	養祖母	家女房	卒去

14

一	實父	近衛准三宮家熙公御猶子 功德聚院前大僧正光性	遷化 〔三六才〕
一	繼母	有栖川式部卿幸仁親王姫君 實性院	逝去
一	實母	家女房	卒去
一	父	近衛左大臣内前公御猶子 清淨光院前大僧正	遷化
一	室	千代宮 伏見貞建親王姫宮	
一	從弟	越後本誓寺誠心院	
一	片從弟	江州大通寺横超院	〔三六才〕
一	再從弟	播州本德寺得過院	
一	猶子	常州願入寺瑞華院	〔三七才〕
二條故右大臣宗基公猶子			
佛光寺權僧正亮祐 酉四十			
一	祖父	故僧正亮庸	遷化
一	父	故法印僧正覚超	遷化
一	母	家女房	死去
一	室	有栖川故一品職仁親王御息女 知宮	

一	息女	厚君	二條大納言治孝卿猶子	三十八才
一	同	貞姫		
一	同	幸姫		
一	同	俊姫		三八才
一	父	興正寺寂永	鷹司故房熙公猶子	
一	母	家女房	興正寺僧正寂聰	西七十六
一	室	西本願寺故寂如息女		
一	男子	權僧正法高	鷹司輔平公猶子	
一	女子	滋野井宰相中将冬恭卿室		三十九才
一	女子	藤谷中将為敦朝臣室		
一	末子	長門國萩清光寺法徳		
一	祖父	興正寺故良尊		
一	祖母	西本願寺故良如息女		死去
一	伯父	興正寺故寂岷		
一	舍弟	佛光寺故寛如		遷化

一	同	越前國清水領毫根寺善榮	三十九才
一	妹	清閑寺故前大納言秀定卿室	死去
一	同	正生前宰相基貫卿室	死去
一	同	藤谷故前中納言為香卿室	死去
一	伯母	飛鳥井故前大納言雅豊卿室	死去
一	甥	佛光寺順如	
一	同	清閑寺權中納言益房卿	四〇才
一	甥	正生少將基胤	
一	從弟	飛鳥井故前大納言雅香卿	四〇才
一	父	興正寺寂聰	
一	母	西本願寺故寂如息女	
一	妹	滋野井宰相中将冬恭卿室	
一	同	藤谷中将為敦朝臣室	
一	舍弟	長門國萩清光寺法徳	四一才
一	祖父	興正寺故寂永	遷化
一	外祖父	西本願寺故寂如	

一	外祖母	鷹司故摂政信房公息女	逝去
一	伯父	佛光寺故寛如	遷化
一	同	越前國清水領毫摂寺善栄	
一	伯母	清閑寺故前大納言秀定卿室	死去
一	同	壬生前宰相基貫卿室	死去
一	同	藤谷故前中納言為香卿室	〔四一〕
一	甥	滋野井從五位下公敬	
一	從弟	佛光寺順如	
一	同	清閑寺權中納言益房卿	
一	同	壬生少将基胤	〔四二〕

〔朱印〕

之大斌
書河々書
籍内書
章氏屋

〔四二〕

本書は、静嘉堂文庫の国書分類目録では『祠部職掌雜纂』四三冊（五〇四函 一八架 二〇三四四号）に含まれる御門跡系図二巻と記されているうちの一冊である。すでに示した

ように、題簽には「祠部職掌雜纂」とあり、個々の書名あるいは内容を記入すべき箇所が空白になっている。さいわい小口書があり、そこには「祠部 御門跡系圖」とある。

先の二巻のうち、もう一冊も同様に題簽の当該箇所はやはり空白のままであるが、小口書に「諸門跡系譜 全」とあり、第一丁はそのまま内表紙で、おなじ標題「諸門跡系譜 全」を中央に記している。しかしその内容は各門跡寺院ごとに当初からの歴代門跡の名を連ね、必要に応じ主要な事跡に触れたものである。

それに対し、本書は天明九年すなわち寛政元年時点、武家伝奏に提出された各門跡自身の親類書ともいうべきものであり、両者ははっきり区別しておいた方がわかりやすいと考えた。そこで青山文庫の²³『諸門跡御続書』の名を採用することにした。

本書、静嘉堂文庫本は縦二六・五センチ、横一九・七センチの大きさである。表紙の題簽は縦一八・七センチ、横四・六センチの紙をはりつけ、縁を一本の郭線で囲み、中の上寄りに「祠部職掌雜纂」と記し、下に五・五センチの余白を残す。墨付き四一丁で遊び紙はなく、第一丁と第二六丁に目次がある。歳書印は、静嘉堂の印を除いて、三種見ら

料

資

れ、「高崎文庫」は高崎藩を、「祠部」は幕府寺社奉行を示す。さらに冒頭および末尾に捺された「斌々書屋大河内氏之書籍章」は大河内松平家の藏書たることを示す。

本文は、寛政元（一七八九）年己酉六月に、各門跡ごとに当主附弟を含むの親類書をまとめて武家伝奏に提出したものを集めたものである。前半は宮家門跡、後半は摂家門跡および準門跡で、当主の出自で大きく二つに分けている。先に紹介した『親王宮方 御判物・御黒印・御朱印』には見られなかった輪王寺宮が冒頭におかれている。以下、桃園院・後桃園院・桜町院の養子となつた宮家出身の門跡たちの名がならび、養家である当時の天皇家を中心とする親族関係と実家である出身宮家を中心とする親族関係が明らかにされる。表記法が画一化されていないので、さまざまな表現が見られる。

当今・今上皇帝は光格天皇を、仙洞御所・大女院御所は女帝であつた前代の後桜町院を、女一宮は欣子内親王（後桃園院皇女、のち光格天皇の皇后）を示す。ちなみに当時の歴代天皇を示しておこう。

桜町院 享保二〇（一七三五）年〜延享四（一七四七）年在位

享保五（一七二〇）年生〜寛延三（一七五〇）年崩御

中御門院の皇子、昭仁

桃園院 延享四（一七四七）年〜宝暦一二（一七六二）年在位

寛保元（一七四一）年〜宝暦一二（一七六二）年崩御

桜町院の皇子、遐仁

後桜町院 宝暦一二（一七六二）年〜明和七（一七七〇）年在位

元文五（一七四〇）年〜文化一〇（一八一三）年崩御

桜町院の第二皇女・緋宮智子

後桃園院 明和七（一七七〇）年〜安永八（一七七九）年在位

宝暦八（一七五八）年生〜安永八（一七七九）年崩御

桃園院の第一皇子、英仁

光格天皇 安永八（一七七九）年〜文化一四（一八一七）年在位

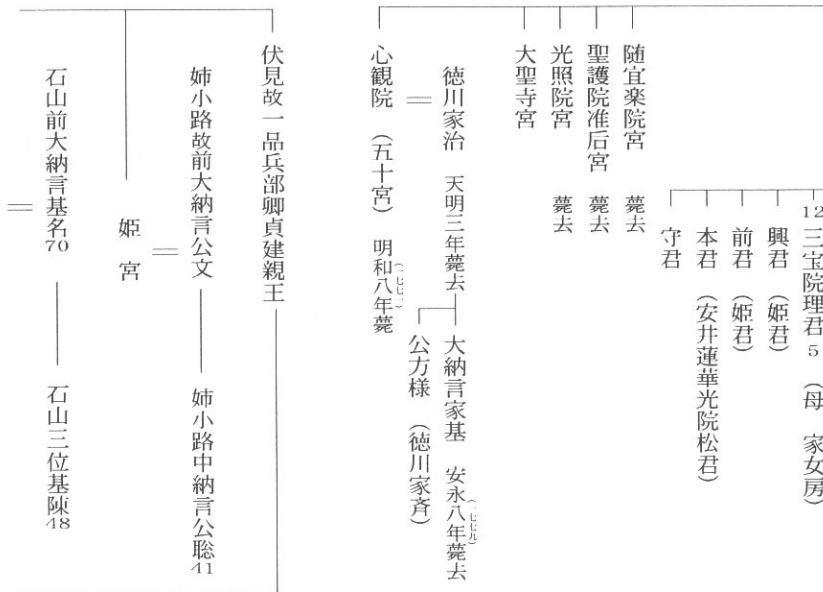
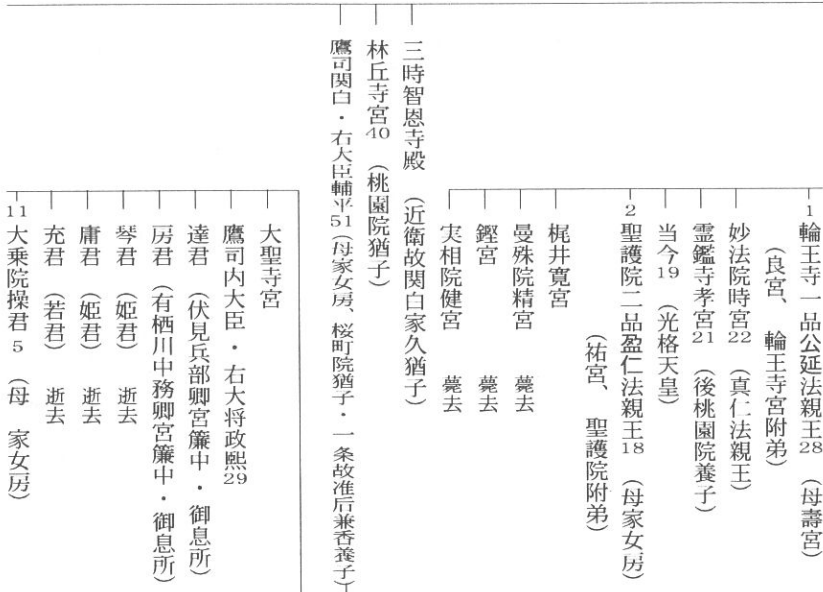
明和八（一七七二）年〜天保一一（一八四〇）年崩御

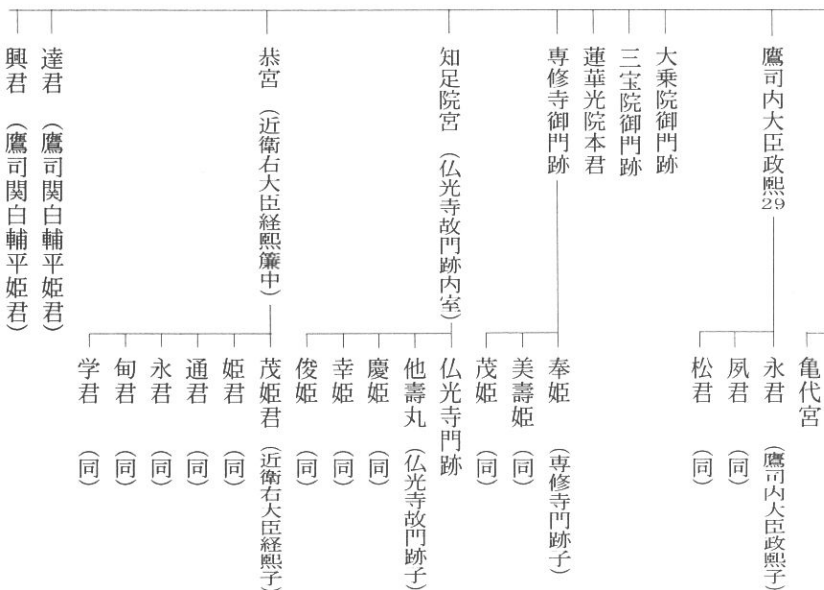
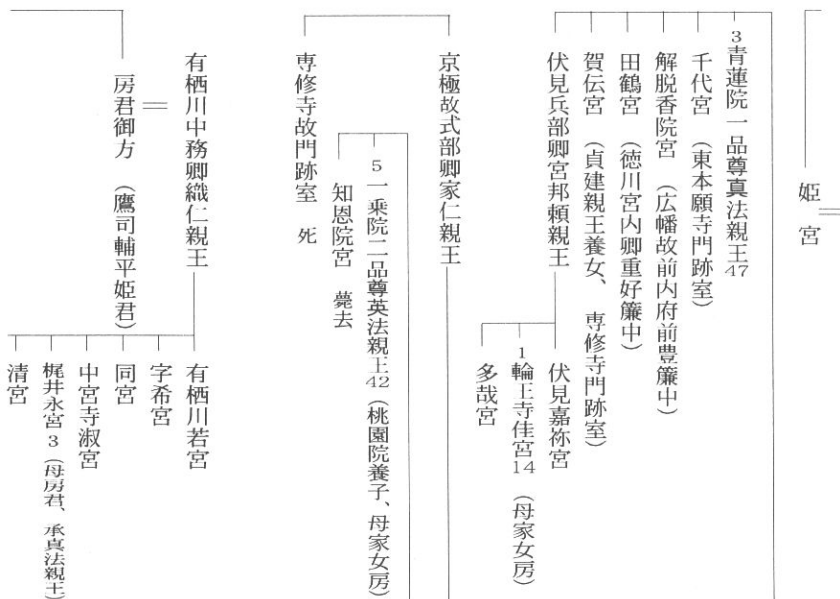
閑院宮典仁親王の第六王子・祐宮、師仁のち兼仁

以下は寛政元（一七八九）己酉年の『御門跡御統書』（本書）から起こした略系譜である。名の下は年齢である。

<p>東山院 宝永六年崩御^{（七〇九）}——中御門院 元文二年崩御</p>	<p>桜町院 寛延三年崩御 ＝ 開明門院 大聖寺宮⁵⁸</p>	<p>後桜町院⁵⁰ （仙洞御所・大女院御所） ＝ 桃園院 宝暦一二年崩御 ＝ 女院御所 3 青蓮院一品尊真法親王⁴⁷ （伏見宮貞建親王子） 知恩院宮（尊寧法親王、京極宮家仁親王） 天明八年薨去^{（七六八）}</p>	<p>5 一乘院二品尊英法親王⁴² （桃園院養子、家仁親王子） ＝ 後桃園院 安永八年崩御^{（七九七）} ＝ 盛化門院</p>
--	--	--	---

<p>仁和寺入道一品深仁親王³¹（桃園院養子、閑院宮典仁親王子） 1 輪王寺一品公延法親王²⁸（桃園院養子、典仁親王子） 妙法院二品真仁法親王²³（桃園院養子、典仁親王子） 有栖川織仁親王（桃園院猶子） 閑院彈正尹美仁親王（桃園院猶子） 林丘寺宮⁴⁰（桃園院猶子、閑院宮直仁親王女） 近衛右大臣経熙²⁹（桃園院猶子） 道君 姫君 永君 学君</p>	<p>女一宮¹¹（欣子内親王） 当今・禁裏御所・今上皇帝¹⁹（光格天皇） 2 聖護院二品盈仁法親王¹⁸（後桃園院養子・第二皇子、典仁親王子） 1 輪王寺佳宮¹⁴（後桃園院養子、輪王寺宮附弟、公澄法親王） 靈鑑寺孝宮²¹（後桃園院養子） 東山院 宝永六年崩御^{（七〇九）}——閑院故一品直仁親王 宝暦三年薨去 閑院太宰帥典仁親王 閑院彈正尹美仁親王 裕宮（姫宮） 仁和寺入道一品深仁親王³¹（桃園院養子） 故輪王寺新宮（公璋法親王） 安永五年薨去</p>
---	---





「前君 (鷹司閔白輔平姫君)

故入道前閔白太政大臣基熙 享保七年薨 故入道准三后家熙 元文元年薨

常子内親王 (後水尾院皇女)

天英院熙子 寛保元年薨

(徳川家宣御台所)

故准三后家久 元文元年薨 閔白太政大臣内前 天明五年薨去

森姫 (田安故中納言宗武簾中) 天明六年卒
姫君 (尾張中納言簾中)

東本願寺入定聚院後室

10 大覚寺御門跡前大僧正寛深⁵⁵

〔西本願寺〕

教興院前大僧正光圓 (九条太閤幸家猶子、良如)

貞梁院 (九条太閤幸家姫君)

珠香院 (八条智仁親王姫宮)

信解院前大僧正光常⁴ (九条前左大臣兼晴猶子、寂如)

信曉院前大僧正光啓⁶ (九条前閔白輔実猶子)

信行院前大僧都光雄 (九条前内大臣植基猶子)

瑞香院 (九条前閔白輔実猶子)

信姫 (興正寺僧正常順室)

興正寺僧正常順後室

理照院大僧都円証 (河内久宝寺村顯証寺)

榮儀院

興正寺僧正良尊室

考槃院大僧都照尊 (播州龜山本徳寺)

本徳寺大僧都寂宗

13 本願寺前大僧正光闌⁷¹ (母 家女房)

<p>誠心院 <small>(信解院前大僧正光常息女、九条尚実猶子)</small></p>	<p>13本願寺前大僧正光暉⁸₃₄ <small>(九条左大臣尚実猶子)</small> — 義千代丸</p>	<p>五千君 <small>(二条前右大臣宗基姫君)</small></p>	<p>顯証寺大僧都闍教</p>	<p>信順院前大僧正光澄⁵ <small>(九条前左大臣兼晴息男、住如)</small></p>	<p>瑞香院 <small>(信解院前大僧正光常息女、九条前関白輔実猶子)</small></p>	<p>信曉院前大僧正光啓⁶ <small>(九条前関白輔実猶子、湛如)</small></p>	<p>光曉院 <small>(閑院直仁親王姫宮)</small></p>	<p>13本願寺前大僧正光闌⁷₇₁ <small>(法如)</small></p>	<p>誠心院 <small>(信解院前大僧正光常息女、九条尚実猶子)</small></p>	<p>13本願寺前大僧正光暉⁸₃₄ <small>(文如)</small></p>
--	---	--	-----------------	---	---	--	--------------------------------------	---	--	---

<p>〔東本願寺〕 泥沮院前大僧正光晴⁵ <small>(九条関白幸家猶子、常如)</small></p>	<p>光台院 <small>(一条関白昭良姫君)</small></p>	<p>無碍光院前大僧正光海⁶ <small>(近衛太閤基熙猶子、一如)</small></p>	<p>功德聚院前大僧正光性⁷ <small>(近衛准三后家熙猶子、真如)</small></p>	<p>実性院 <small>(有栖川幸仁親王姫宮)</small></p>	<p>清浄光院前大僧正光超⁸ <small>(近衛左大臣内前猶子、母家女房、從如)</small></p>	<p>13本願寺前大僧正光遍⁹₃₄ <small>(母家女房、乗如)</small> 猶子・常州願入寺瑞華院</p>	<p>千代宮 <small>(伏見貞建親王姫宮)</small></p>	<p>從弟・越後本誓寺誠心院</p>	<p>片從弟・江州大通寺横超院</p>	<p>再從弟・播州本徳寺得過院</p>
--	--------------------------------------	--	---	---------------------------------------	--	--	--------------------------------------	--------------------	---------------------	---------------------

故僧正堯庸 (隨如) — 故法印僧正堯超 (寬如)

14 仏光寺權僧正堯祐 40 (母家女房、二条故右大臣基猶子、順如)

知宮 (有栖川職仁親王息女)

厚君 (二条大納言治孝猶子)
貞姫
幸姫
俊姫

興正寺故良尊 (円超) — 興正寺故寂岷 (由常)

西本願寺故良如息女死去 — 興正寺故寂永 (常勤)
飛鳥井故前大納言雅豐死去

飛鳥井故前大納言雅香

15 興正寺僧正寂聴 76 (母家女房、常順) — 15 權僧正法高 43

西本願寺故寂如息女 (鷹司輔平猶子) — 滋野井宰相中將冬泰室

(鷹司輔仁猶子、闍揚)

西本願寺故寂如 —

鷹司故撰政信房息女

仏光寺故寬如 (堯超)

越前国清水領・毫撰寺善榮

清閑寺故前大納言秀定室死去

壬生故前宰相基貴室死去

藤谷故中納言為香室

「滋野井從五位下公敬

藤谷中將為敦室

長門国萩・清光寺法徳

仏光寺順如 (堯祐)

清閑寺權中納言益房 54

壬生少將基胤

解題 (前号につづく)

『神部職掌類聚』 親王宮方 御判物・御黒印・御朱印

『神部職掌類聚』 堂上方 御判物・御朱印

『神部職掌類聚』 堂上方 御朱印 二冊

四 『公卿補任』 にみる堂上方と判物・朱印状

『公卿補任』 元和三年 (一七一七年、後水尾院) 条に、本書に付した家ごとの仮番号を行頭に付して示すと、つぎの通りになる。名の直下は年齢である。

- 4 二條 昭實 62 従一位 関 白 准三后 氏長者
- 1 鷹司 信尚 28 従一位 左大臣 前関白
- 3 近衛 信尋 19 正二位 右大臣・左大将
- 7 西園寺実益 58 正二位 内大臣 正月五日叙従一位
- 6×大炊御門経頼 63 正二位 権大納言 七月一八日薨
- 19 廣橋 兼勝 60 正二位 権大納言・賀茂傳奏・武家傳奏
- 11 花山院定熙 60 正二位 権大納言・神宮傳奏 (正月八日大将辞)
- 8 三條 公廣 41 正二位 権大納言
- 28 三條西實條 43 従二位 権大納言・武家傳奏 正月五日叙正二位
- 87 中御門資胤 49 従二位 権大納言・神宮傳奏 正月五日叙正二位

- 30 日野 資勝 41 従二位 権大納言
- 32 烏丸 光廣 39 正三位 権大納言
- 2 一條 兼遐 13 正三位 権大納言 正月五日叙従二位
- 7 西園寺公益 36 正三位 権大納言 (正月二一日任)
- 19 廣橋 總光 38 正三位 権中納言
- 18 上冷泉為満 59 正三位 権中納言
- 104 正三條実有 30 正三位 権中納言
- 7 西園寺公益 36 正三位 権中納言 (正月二一日任権大納言)
- 10 今出川宣季 24 正三位 権中納言
- 44 四辻 季継 37 従三位 権中納言 正月五日叙正三位
- 87 中御門宣衡 28 従三位 権中納言 正月五日叙正三位
- 4 二條 康道 11 従三位 権中納言・左中将
- 20 中院 通村 30 正三位 権中納言 (正月一一日任)
- 1 鷹司 教平 9 従三位 権中納言 (七月六日任)、左中将
- 5 九條 忠象 9 従三位 権中納言 (八月六日任)、左中将
- 徳川 義利 18 従三位 権中納言
- 徳川 頼将 16 従三位 権中納言 (七月一十九日叙・任、二〇日辞)
- 62 西洞院時慶 66 従二位 参議・右衛門督 (七月二〇日叙・任、二一日辞)
- 99×万里小路孝房 26 従三位 参議 四月一日薨
- 88 阿野 實顯 37 従三位 参議・左中将、正月五日叙正三位

資 料

22	清閑寺共房	從三位	參議	正月五日叙正三位
30	日野 光慶	從三位	參議	正月五日叙正三位
20	中院 通村	從三位	參議・右中將、 權中納言 (正月一日任)	正月五日叙正三位
福島	正則	從四位下	參議	(六月二二日任、一二月二日辭)
島津	家久	從四位下	參議	(七月一八日任、一〇月五日辭)
1	鷹司 信房	從一位	前左大臣 前關白	
5	九條 忠榮	從一位	前左大臣 前關白	
10	今出川晴季	從一位	前右大臣	三月二八日薨
17	德川 秀忠	從一位	前右大臣、 征夷大將軍	
43	庭田 重定	從三位	前權中納言	
41	水無瀬氏成	正三位	前參議	
41	德川 義利	從四位下	前參議	左中將、 尾張守、 七月一九日任權中納言
1	德川 賴將	從四位下	前參議	左中將、 三川守、 七月二〇日任權中納言
22	松平 忠直	從四位下	前參議	左中將、 越前守、
30	細川 忠興	從四位下	前參議	
20	丹羽 長重	從四位下	前參議	
毛利	秀元	從四位下	前參議	
伊達	政宗	從四位下	前參議	
前田	利光	從四位下	前參議	
福島	正則	從四位下	前參議	(一一月二日辭)
島津	家久	從四位下	前參議	(一〇月五日辭)
86	白川 雅朝	正二位	非參議	
58	五辻 之仲	正三位	非參議、 右兵衛督	
68	富小路秀直	從三位	非參議	
1	鷹司 教平	從三位	非參議、 左中將、 七月六日任權中納言	
5	九條 忠象	從三位	非參議、 左中將、 八月六日任權中納言	
71	山科 言緒	從三位	非參議	正月五日叙

これらを、本書の仮番号順に並べかえると、つぎの通りになる。元和三年の判物状・朱印状の宛名人がほぼ判明する。傍点は宛名に表示された官職または位階である。

- 1 鷹司 信房 53 從一位 前左大臣・前關白
- 1 鷹司 信尚 28 從一位 左大臣、前關白
- 1 鷹司 教平 9 從三位 權中納言 (七月六日任)・左中將

30	30	28	22	20	19	19	18	17	11	10	10	8	7	7	6	5	3	2
日野	日野	三條西實條	清閑寺共房	中院	廣橋	廣橋	上冷泉為満	中山	花山院定熙	今出川宣季	今出川晴季	三條	西園寺公益	西園寺実益	大炊御門経頼	九條	近衛	一條
光慶	資勝	西實條	共房	通村	總光	兼勝	為満	慶親	院定熙	宣季	晴季	公廣	公益	実益	経頼	忠象	信尋	兼遐
27	41	43	29	30	38	60	59	52	60	24	79	41	36	58	63	9	19	13
從三位	從二位	從二位	從三位	從三位	正三位	正二位	正三位	從二位	正二位	正三位	從一位	正二位	正三位	正二位	正二位	從三位	正二位	正三位
參議	權大納言	權大納言・武家傳奏	參議	參議・右中將	權中納言	權大納言・賀茂傳奏・武家傳奏	權中納言	前權大納言	權大納言・神宮傳奏	權中納言	前右大臣	權大納言	權大納言	內大臣	權大納言	權中納言	右大臣・左中將	權大納言
		正月五日叙正二位	正月五日叙正三位	正月一日任權中納言				(正月八日大將辭任)		三月二八口薨		(正月二一日任、權中納言より)		(正月五日叙從一位)	七月一八日薨	(八月六日任)		(正月五日叙從二位)

104	99	88	87	86	71	68	62	58	44	43	41	32
萬里小路孝房	阿野	實顯	中御門資胤	白川	山科	富小路秀直	西洞院時慶	五辻	四辻	庭田	水無瀬氏成	鳥丸
孝房	實顯	實顯	資胤	雅朝	言緒	秀直	時慶	之仲	季繼	重定	瀨氏成	光廣
26	37	37	49	63	41	55	66	60	37	41	47	39
從三位	從三位	從三位	從二位	正二位	從三位	從三位	從二位	正三位	從三位	從三位	正三位	正三位
參議	參議・左中將	參議・左中將	權大納言・神宮傳奏	非參議	非參議	非參議	參議	非參議	權中納言	前權中納言	前參議	權大納言
	正月五日叙正二位	正月五日叙正三位			右中將		右衛門督		正月五日叙正三位			

細川 忠興 從四位下 前參議
 丹羽 長重 從四位下 前參議
 毛利 秀元³⁹ 從四位下 前參議
 伊達 政宗 從四位下 前參議
 前田 利光 從四位下 前參議
 福島 正則 從四位下 前參議 (二月二日辞)
 島津 家久 從四位下 前參議 (二〇月五日辞)

末尾に示した武家については、元和五年をもって『公卿補任』の記載は見られなくなる。武家官位は当官の外とする幕府の命令に由来する。

五摂家の本書での宛名は「家名+殿」として表示されるので、宛名によって他家のように官職名または位階表示で当主を定めることが困難な場合がある(一鷹司家)。また大臣・前大臣家についても同様に「家名+殿」として表わされることがある。

⁸転法輪三條家では、万治四年の火事でそれまでの判物を焼失している(8・7)。

堂上方にあたえられた家康(東照宮、東照大権現)の所領判物・朱印状は、本書にない慶長一六年四月一六日付の船橋家あて、および慶長一八年八月六日付の花山院父子に与えられたもの(11・1、11・2)など数少ない。

なお秀忠(台徳院)は堂上方の所領安堵の判物・朱印状を

出し、全国支配権を堂上方に対しても具体的な形で宣明した。その書式は後代と異なり、一つ書の目録の形を取るものが多い(鷹司1・1、一条2・1、西園寺7・1、徳大寺9・1、菊亭10・1、正親町15・1、広橋19・1、三条西28・1、日野30・1、烏丸32・1、藪33・1、勧修寺34・1、甘露寺35・1、藤波50・1、高倉52・1、五辻58・1、園73・1、竹内78・1、上御門79・1、白川86・1、中御門87・1、今城90・1)。

下付の日付もまた元和三年九月五日(上山¹⁰¹・1)、九月七日(九条5・1、大炊御門6・1、西園寺7・1、7・2、徳大寺9・1、菊亭・今出川¹⁰・1、花山院¹¹・4、正親町¹⁵・1、中山¹⁷・1、冷泉¹⁸・1、18・2、広橋¹⁹・2、清閑寺²²・1、三条西²⁸・1、烏丸³²・1、藪³³・1、勧修寺³⁴・1、甘露寺³⁵・1、持明院⁴⁷・1、藤波⁵⁰・1、高倉⁵²・1、五辻⁵⁸・1、園⁷³・1、上御門⁷⁹・1、中御門⁸⁷・1、今城⁹⁰・1)、九月九日(一条2・1、近衛3・1)、九月十日(中院²⁰・1、六条⁴²・1、山科⁷¹・1、白川⁸⁶・1)、九月十一日(鷹司¹・1、花山院¹¹・3、広橋¹⁹・1、日野³⁰・1、水無瀬⁴¹・1、竹内⁷⁸・1、滋野井⁸⁴・1、阿野⁸⁸・1、竹屋⁹⁶・1、調子¹⁰²・1)の数日にわたっている。

以下に、同様の要領で作成した一覧表を、判物・朱印状交

付の各年次に示す。

寛文五年 (一六六五年、靈元天皇)

14	13	11	11	10	9	9	8	7	6	6	5	4	4	3	2	2	1	1	
葉室	廣幡	花山院	花山院	今出川	德大寺	德大寺	三條	西園寺	大炊御門	大炊御門	5×九條	二條	二條	近衛	一條	一條	鷹司	鷹司	
賴業	忠幸	定誠	院定好	公規	実維	実信	実秀	実晴	經光	經孝	幸家	光平	康道	基熙	内房	教輔	房輔	敦平	
51	42	26	67	28	30	60	68	65	28	53	80	42	59	18	14	33	29	57	
正二位	從三位	正三位	從一位	正三位	從二位	從一位	從一位	從一位	正三位	正二位	從一位	從一位	從一位	正二位	正三位	正二位	正二位	從一位	
權大納言	權中納言	權大納言	前左大臣	權大納言	權大納言	前右大臣	前左大臣	前右大臣	權大納言	前右大臣	前左大臣・前閑白	前左大臣	前左大臣・前摂政	内大臣・右大將	權大納言	前右大臣	撰政・氏長者・左大臣	前左大臣	
										八月二一日薨									

(八月一〇日任)

(六月一日任、權大納言・右大將より)

44	44	42	41	40	39	37	34	34	33	32	31	30	29	28	27	22	20	19	17	16	15	14
四辻	四辻	六條	水無瀬	千種	東園	綾小路	勸修寺	勸修寺	藪	鳥丸	柳原	日野	松木	三條	唐橋	清閑寺	中院	廣橋	中山	油小路	正親町	葉室
季実	公理	有和	瀨氏信	有能	基賢	路俊景	経慶	経廣	嗣孝	資慶	資行	弘資	宗條	西実教	在村	共綱	通茂	兼賢	英親	隆貞	実豊	賴孝
35	56	43	47	51	40	34	22	60	47	44	46	49	41	47	74	54	35	71	39	44	47	22
正三位	正二位	正三位	正三位	正三位	正三位	從三位	從三位	正二位	從二位	正二位	正二位	正二位	正三位	正二位	正三位	正二位	正三位	從一位	正三位	從二位	正二位	從三位
權中納言	前權大納言	前權中納言	前參議	權中納言	權中納言	非參議	參議・右大辨	前權大納言	前權大納言	前權大納言	前權大納言	前權大納言	前權大納言	前權大納言	非參議	前權中納言	權大納言	准大臣	前權中納言	權大納言	前權大納言	參議・左大辨

(八月二八日任)

95	倉橋 泰吉 67	正三位	非参議、	二月三日叙從二位
94	小倉 実起 44	從三位	權中納言、	二月三日叙正三位
88	阿野 季信 32	從三位	非参議	
88	阿野 公業 67	正二位	前權大納言、	
87	中御門資熙 31	正三位	權中納言、	
86	雅喬王 46	正三位	非参議、	神祇伯
81	五條 為庸 47	正三位	参議・	大学頭
76	中園 季定 39	從三位	非参議	
74	坊城 俊廣 41	從二位	權大納言、	
73	園 基福 44	從二位	權大納言、	
72	岩倉 具家 36	從三位	非参議、	改具詮、
71	山科 言行 34	從三位	参議・	左衛門督、
69	平松 時量 39	正三位	参議、	四月二五日薨
67	樋口 信康 43	正三位	非参議	
66	裏松 資清 40	正三位	参議	
57	東坊城知長 45	正三位	權中納言・	式部大輔
56	藤谷 為條 46	正三位	前参議、	
52	高倉 永敦 51	正二位	前權中納言、	
51	堀河 則康 44	從三位	非参議、	二月三日叙正三位
48	伏原 賢忠 64	正三位	非参議	大藏卿
47	持明院基時 31	從三位	非参議	
47	持明院基定 59	正二位	前權大納言、	

104103100	池尻 共孝 53	正三位	權中納言	(九月一日任、前参議より)
100	桂 昭房 22	從三位	参議	
99	飛鳥井雅章 55	正二位	前權大納言	
96	芝山 宣豐 54	從二位	前權中納言	
	梅小路定矩 47	正三位	非参議、	左兵衛督
	船橋 相賢 48	正三位	非参議	
	長谷 忠康 54	正三位	非参議	
	無番号は、本書に見られない家である。飛鳥井・船橋両家を除いて、所領を有さぬ歳米拝領であろう。両家が本書におさめられていない理由は不明である。			
	家光（大猷院）の堂上方への判物・朱印状は、寛永十年八月十一日付で菊亭家（内室）に出された朱印状を除いて、知られていない。			
104103100	久我 通名 19	從三位	非参議、	左中將、
100	花園 実満 37	正三位	非参議	三月五日叙
99	正三條実昭 42	從三位	前参議	
96	竹屋 光久 41	正三位	参議、	
	万里小路雅房 32	正三位	權中納言、	
	久我 廣通 40	正二位	右大臣	
	(正月一日任、三月五日辞)			

家綱（嚴有院）の判物・朱印状は、堂上方には大半が寛文五年一月三日付で出されており、この時にはじめて朱印状を下付された家も少なくない。幕府における「代替りの朱印改め」とのちに称されるこの制度が本格的かつ全面的に整えられたのは、この時である。

五摂家および大臣家は「何々殿」との表現にとどめられている（大炊御門⁶・2、西園寺⁷・3、転法輪⁸・1、徳大寺⁹・1、花山院¹¹・5、久我¹⁰⁰・1）。

知行所の判物・朱印状については、『寛文朱印留』¹⁰⁰下にも詳細な記録があり、本書との対応関係については、後ろの表②に示した通りである。

⁵¹堀河則康に与えられた朱印状は、以前の判物・朱印状とともに延宝年中の火事で焼失した（⁵¹・6）。『寛文朱印留』によれば、次の通りである。

山城国愛宕郡一乗寺村之内九拾石、乙訓郡石倉村之内六拾石、大原野村之内三拾石、都合百八拾石事、任元和三年九月十日先判之旨、弥領掌不可有相違之状如件、

寛文五年十一月三日御朱印

筆者

井手五左衛門

堀川三位殿

本書では貞享の朱印状で各所の石高が斗・升に至るまで記されているのと若干内容を異にする。また元和三年九月十日に

も下付されていることが判明する。筆者は原本の清書担当者であろうか。

⁵⁷東坊城知長・81五條為庸に与えられた朱印状も宝永五年三月の火事で焼失している（⁵⁷・5）。『寛文朱印留』によれば、次の通りである。

山城国乙訓郡鷄冠井村之内貳百貳拾五石、愛宕郡田中村之内七拾六石、合三百壹石事、任元和三年九月七日先判之旨、弥領掌不可有相違之状如件、

寛文五年十一月三日御朱印

筆者

久保金左衛門

東坊城中納言殿

同内容が享保以降の朱印状にそのまま継承されている。秀忠の朱印状が存在したことも明らかである。

山城国葛野郡御所内村之内六拾石四斗余、西京村之内五拾三石、乙訓郡鷄冠井村之内五拾石、山崎之内八石、都合百七拾壹石四斗余、任元和三年九月七日先判之旨、弥領掌不可有相違之状如件、

寛文五年十一月三日御朱印

筆者

大橋長左衛門

五条宰相殿

後の朱印状と所領の一部に相違がみられる。秀忠の朱印状の

存在も確かめられた。

94小倉実起に与えられた朱印状は、以前の判物・朱印状とともにのちに紛失している。その事情は、天和元年（一六八一）に正二位権大納言となっていた実起（60歳）が十二月二日に解官され、佐渡島に遠流されたことにある。子息公連（36歳）も当時正三位参議兼右中将であつたが、父に縁座して同日に解官され、ともに佐渡島に遠流された。天明七年四月の差出書付（94・5）によれば、当主見季の曾祖父故中納言熙季（公連の弟）は遠島に処せられ、元禄一二年（一六九九）に帰郷し相続を認められたが、当時すでに歴代の朱印状および写までも紛失していた由である。『公卿補任』正徳元年条では熙季の相続を元禄一二年閏九月五日としており、中納言就任は享保二年二月、翌三年三月には辞任している。『寛文朱印留』によれば、失われた寛文の朱印状は次の通りである。

山城国乙訓郡寺戸村之内拾六石九斗余、愛宕郡一乗寺村之内四拾三石余、紀伊郡東福寺廻三拾九石九斗余、葛野郡松原村之内六石五斗余、小北山村之内式拾六石九斗余、平野村内拾六石四斗余、都合百五拾石事、如前々弥領掌不可有相違之状如件、

寛文五年十一月三日御朱印

筆者

小嶋久左衛門

貞享二年（一六八五）靈元天皇

12	11	11	10	10	8	7	6	5	4	3	3	2	2	1	1	
醍醐	花山院持重	花山院定誠	今出川伊季	今出川公規	三條 実通	西園寺実輔	大炊御門経光	九條 輔実	二條 綱平	近衛 家熙	近衛 基熙	一條 冬経	一條 教輔	鷹司 兼熙	鷹司 房輔	
38	16	46	26	48	36	25	48	17	14	19	38	34	53	27	49	
正三位	從三位	正二位	從二位	正二位	從二位	正三位	正二位	從二位	從三位	從二位	正二位	正二位	正二位	正二位	從一位	
	權大納言・春宮權亮	右大臣	權大納言	前内大臣	權大納言・中宮大夫	權中納言・中宮權大夫	前内大臣	權大納言	權大納言	權大納言・左大将・春宮大夫	左大臣	閼 白・氏長者	前右大臣	右大臣・東宮傳	前左大臣・前閼白	
十二月二日叙從二位	七月一二日辭				七月二三日兼	正月五日薨			九月一四日叙正三位							

30	30	29	29	28	25	24	22	22	20	19	17	16	16	15	15	14	13
日野	日野	松木	松木	三條西実教	櫛笥隆慶	難波宗量	清閑寺熙定	清閑寺熙房	中院通茂	廣橋貞光	中山篤親	油小路隆真	油小路隆貞	正親町実豊	正親町公通	葉室頼孝	廣幡豊忠
資茂	弘資	宗顯	宗條	67	34	44	24	53	55	43	30	26	64	33	67	42	20
從二位	正二位	從三位	正二位	正二位	從三位	從二位	正四位上	正二位	正二位	正三位	正四位上	從三位	正二位	正三位	正二位	從二位	從三位
權中納言	前權中納言	權中納言	前權中納言	前權中納言	非參議	前權中納言	參議・左大辨	權中納言	前權中納言	前權中納言	參議・左衛門督	參議・左中將	前權大納言	權中納言	前權大納言	前權大納言	非參議・左中將・中宮權亮
賀茂傳奏	神宮傳奏	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居	蟄居
(五月一日辭)	(六月二日辭)																

51	50	48	47	46	43	42	41	41	40	40	39	39	38	37	36	35	34	33	32
堀河則康	藤波景忠	伏原宣幸	持明院基時	梅園季保	庭田重條	六條有和	水無瀬氏信	水無瀬兼豊	千種有雅	千種有能	東園基量	東園基賢	高辻豊長	綾小路俊景	姉小路公量	甘露寺方長	勸修寺経慶	數副章	鳥丸光雄
64	39	49	51	40	36	63	67	33	48	71	33	60	61	54	35	38	42	36	39
從二位	從三位	從三位	從二位	正三位	從三位	正三位	正二位	從三位	正三位	正二位	正三位	正二位	從二位	正二位	正三位	從二位	從二位	正四位下	從二位
前參議	非參議	非參議	前參議	參議・右兵衛督	權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	權中納言	前權大納言	權中納言	前權大納言	前權大納言	前權大納言	前權大納言	前權大納言	前權大納言	參議・左中將	權中納言・賀茂傳奏
九月一日叙	兵部大輔	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿	大藏卿
神祇權大副																			

31	柳原 資廉 42	從二位	權大納言・武家傳奏
54	久世 通音 39	從三位	非參議
56	藤谷 為茂 32	從三位	非參議、 民部卿 (二〇月二四日任)
57	東坊城恒長 65	正二位	前權大納言
57	東坊城長詮 40	從三位	參議・式部權大輔
59	押小路公起 36	從三位	非參議
61	河鰭 実陳 51	從二位	前參議
62	西洞院時成 41	正三位	參議・右衛門督
64	山本 実豊 41	正三位	前參議
65	高野 保春 36	從三位	非參議、宮内卿
66	裏松 意光 34	從三位	參議、 一〇月二四日叙正三位
67	樋口 信康 63	從二位	前參議
68	富小路永貞 46	從三位	非參議
69	平松 時量 59	正二位	前權中納言・新院傳奏
70	愛宕 通福 52	正三位	前參議
71	山科 持言 29	從三位	非參議、 右中將兼春宮亮、 七月一〇日叙
73	園 基福 64	正二位	前權大納言
74	坊城 俊廣 60	正二位	前權大納言・本院傳奏
75	清水谷実業 38	從三位	權中納言
76	中園 季定 59	從二位	前參議
78	竹内 惟庸 46	從三位	非參議

86	白川 雅喬 66	正二位	非參議
87	中御門資熙 51	正二位	前權大納言
88	阿野 季信 52	從二位	前權大納言
89	日野西國豊 33	從三位	非參議
90	今城 定淳 51	從二位	前權中納言
91	七條 隆豊 46	正三位	前參議
96	竹屋 光久 61	從二位	前參議
98	梅溪 英通 36	從三位	非參議、 左中將
99	万里小路淳房 34	正三位	權中納言、 一二月二三日叙從二位
00	久我 通誠 26	從二位	權大納言
	芝山 宣豊 74	正二位	前權中納言
	梅小路定矩 67	正二位	前權中納言
	風早 実種 54	從二位	前參議
	芝山 定豊 47	正三位	前參議
	船橋 相賢 68	從二位	非參議
	穂波 経尚 40	從三位	非參議
	池尻 勝房 36	從三位	非參議
	外山 宣勝 34	從三位	非參議
	賀茂 矩久 69	從三位	非參議、 賀茂社前神主
	鴨 永祐	從三位	非參議、 鴨社前禰宜

×大中臣時康⁷⁵ 從三位 非參議 春日社神主

正月二八日叙正三位、一〇月八日薨

鴨 春光 從三位 非參議 鴨社祝

中臣 祐俊⁵⁸ 從三位 非參議 春日社正預

大中臣師直⁷⁰ 從三位 非參議 春日社權神主

綱吉（常憲院）の堂上方への判物・朱印状は、いずれも 正月二八日叙

貞享三年六月一日付で出されている。

受給すべき者が『公卿補任』にみえるのに、朱印状が現存しない場合がいくつか見られる。そのうち¹⁴葉室頼孝・⁸⁷中御門資熙・⁹⁰今城定淳は蟄居中であつた。同じ蟄居中でも¹⁵正親町実豊・²⁸三條西実教は朱印状を与えられており、³⁹東園基賢は代わつて息子の³⁹東園基量に与えられている。¹⁴葉室頼孝は六月二四日出仕しており、^{14・6}差出書付によれば、出仕以後に朱印状を願つたが、「重ねて時節もこれあるべし」と稲葉丹後守から申し聞けられたと両伝奏から示された由である。

³⁸高辻・⁵⁷東坊城・⁷⁵清水谷家に与えられた朱印状は、それでの朱印状とともに宝永五年の火事で焼失しているため、現存しない。⁶⁵高野保春の朱印状がない理由は不明である。

¹⁶油小路家では隆貞⁶⁴（正二位、前権大納言）に代わつて子息の隆真²⁶（從三位、参議・左衛門督）に朱印状が交付されている。当主の交代であらう。

元和五年で『公卿補任』への武家記載は元和五年で終わる

が、かわつて非参議に社家の名が現れる。延宝元年（一六七三）の中臣延知⁶⁵（春日社正預、二月五日叙從三位）、同延種⁶⁸（春日社權預、同日叙從三位）、鴨秀政（鴨社祝、一二月二九日叙從三位）からである。

享保四年（一七一九 中御門院）

1 鷹司 兼熙⁶¹ 從一位 前左大臣・前関白
2 一條 兼香²⁸ 從二位 権大納言・左大將 一二月二六日叙正二位

3 近衛 基熙⁷² 從一位 前太政大臣・前関白

3 近衛 家熙⁵³ 從一位 前太政大臣・前摂政

3 近衛 家久³³ 正二位 右大臣

4 二條 綱平⁴⁸ 從一位 左大臣

4 二條 吉忠³¹ 正二位 内大臣

5 九條 輔実⁵¹ 從一位 関白・氏長者（一二月三〇日辞、一二月一日還任）

5 九條 幸教²⁰ 從三位 権大納言、七月六日叙正三位

7 西園寺致季³⁷ 正二位 権大納言

8 三條 実治⁷⁰ 從一位 前左大臣 神宮傳奏（四月一八日為、五月二三日辞）

8 三條 公充²⁹ 從二位 権大納言（正月二二日辞）

9×徳大寺公全⁴² 正二位 権大納言・右大將

（一二月二九日辞兩宮）

内大臣（二月三〇日任・辞）

二月二日薨

10 今出川公詮 24 正三位 權中納言

11 花山院持資 50 從二位 前權大納言

11 花山院常雅 20 正三位 權中納言

神宮傳奏（二月一日為）

12 醍醐 昭尹 41 正二位 權大納言

神宮傳奏（四月一七日辞、五月二三日為、
二月二九日辞）

13 廣幡 豐忠 54 正二位 權大納言

右大將（二月一〇日兼任）

右馬寮御監（二月二七日為）

15 正親町公通 67 從一位 前權大納言

16 油小路隆真 60 正二位 前權大納言

16 油小路隆典 36 從二位 權中納言・左衛門督

17 中山 兼親 36 從二位 權中納言

權大納言（二月二日任）

18 上冷泉為綱 56 從二位 前權中納言

18 上冷泉為久 34 正三位 非參議

19 廣橋 兼廉 42 從二位 權中納言

權大納言（三月二日任）

20 中院 通射 52 正二位 前權大納言

權大納言（二月一〇日還任）

21 鷲尾 隆長 48 從二位 前權大納言

22 清閑寺治房 30 從三位 權中納言

23 四條 隆安 57 從三位 前權中納言

25 櫛笥 隆賀 68 正二位 前權大納言

25 櫛笥 隆成 44 正四位上參議（六月一日任）、左中將

26 橋本 実松 48 從三位 參議・右中將

權中納言（六月一日任）

28 三條西公福 23 正四位下 參議・右中將

二月二二日叙從三位

29 松木 宗顯 62 從三位 權中納言（六月一日任）

32 鳥丸 光榮 31 正四位上 准大臣

參議（九月一五日任）

34 勸修寺尹隆 44 正三位 前權中納言

36 姉小路公量 69 正二位 前權中納言

37 綾小路有胤 56 從二位 前權中納言

37 綾小路俊宗 30 從三位 非參議

正月九日叙

38 高辻 總長 32 從三位 非參議左大辨（二月二七日辞）

文章博士、二月一四日叙正三

橙 東園 基長 45 從二位 權大納言

（正月二四日任、前權中納言より）

40 千種 有統 33 從三位 非參議

41 水無瀬氏孝 45 正三位 權中納言

73	72	71	71	70	69	67	65	64	62	59	57	56	54	52	52	50	49	48	47	46	43	42
園	岩倉	山科	山科	愛宕	平松	樋口	高野	山本	西洞院時成	押小路実岑	東坊城資長	藤谷	久世	高倉	高倉	藤波	吉田	伏原	持明院英雄	梅園	庭田	六條
基香	具偈	光言	持言	通晴	時春	康熙	保光	公尹	75	41	41	為信	通夏	永房	永福	景忠	兼敬	德忠	33	50	28	48
29	54	34	63	47	27	43	46	45	75	41	41	45	50	32	63	73	67	50	33	50	28	48
從二位	從二位	從三位	從三位	正三位	從三位	正三位	正三位	從三位	正二位	正三位	從三位	正三位	正三位	從三位	正二位	從二位	從二位	正三位	從三位	正三位	從三位	從二位
權中納言	前權中納言	非參議	前參議	非參議	非參議	非參議	非參議	參議・右中將	前權大納言	非參議	非參議	參議・右兵衛督	參議	非參議	前權大納言	非參議	非參議	非參議	非參議	前參議	參議・右中將	前權中納言
	五月五日改乘具			正月一日叙						一月二二日叙正三位			(六月一日辞)				祭主・神祇大副			一一月二六日叙從二位		

96	95	94	93	88	87	86	84		83	82		81	78		77	75		74		74
竹屋	倉橋	小倉	勘解由小路韶光	阿野	中御門宣顯	雅冬王	滋野井公澄	權大納言	武者小路実陰	下冷泉為経	權大納言	五條	竹内	清水谷雅季	石井	清水谷雅季	坊城	坊城	坊城	
光忠	泰貞	熙季	57	54	58	41	50	(二月二〇日任、三月二二日辞兩官)	59	66	(二月二〇日任、前權中納言より)	32	42	36	47	36	53	53	賀茂傳奏(正月六日為、二月一日辞)	
58	52	69	從二位	正三位	從三位	從三位	從二位	前權中納言	從二位	正二位	前權中納言	從三位	從三位	正四位下	正三位	正四位下	正二位	正二位	權大納言(三月二日辞)	
從二位	正三位	正三位	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	非參議	非參議	參議	參議	參議	按察使	按察使	按察使	
前權中納言	非參議	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	前權中納言	文章博士・少納言	文章博士・少納言	文章博士・少納言	右衛門督	右衛門督	右衛門督	右衛門督	右衛門督	

資 料

96	竹屋	光兼	38	正三位	非參議	
97	植松	雅康	33	從三位	非參議	正月一日叙
98	梅溪	通條	48	正三位	參議・左中將	
99	万里小路尚房	38	正三位	權中納言		
		賀茂傳奏	(正月五日辭、二月一日再為)			
100	久我	通誠	60	從一位	前內大臣	七月七日薨
100	久我	惟通	33	從二位	權大納言	
103	花園	公晴	59	從二位	前權中納言	
104	正三條公統	52	正二位	權大納言	(正月二二日辭)	八月一六日薨
	梅小路共方	67	正二位	權大納言		
		(正月二四日任、二月一四日辭)				
	芝山	廣豐	46	正三位	參議 (六月六日任)	
		右衛門督 (一〇月三日兼)				
	梅小路共方	67	正二位	權大納言	(正月一四日任、二月一四日辭)	
		權大納言 (正月一四日任、二月一四日辭)				
	外山	光顯	68	正二位	前權中納言	
	石野	基顯	50	正三位	前權中納言	
		風早	公長	54	正三位	前參議
		町尻	兼量	58	正三位	前參議
		桑原	長義	59	正三位	前參議、式部權大輔

岡崎	國久	61	正三位	前參議		一二月二六日叙從二位
石山	師香	51	正三位	非參議		
				左兵衛督 (一二月二六日辭)		
				〔清原〕		
伏原	宣通	53	正三位	非參議	大藏卿	
芝山	廣豐	46	正三位	參議 (六月六日任)		
山井	兼仍	49	正三位	非參議	治部卿	八月一四日薨
外山	光和	40	正三位	非參議	刑部卿	一二月二六日叙正三位
六角	益通	37	從三位	非參議		
園池	実守	36	從三位	非參議		正月一一日叙正三位
町尻	兼重	36	從三位	非參議		
池尻	共條	33	從三位	非參議		
北小路德光		37	從三位	非參議		
度会	常有	78	正三位	外宮權宜		
×中臣	延英	82	正三位	春日社正預		一一月一〇日薨
大中臣經賢		79	正三位	春日社神主		
賀茂	就久	77	正三位	賀茂社前神主		
鴨	光行	70	正三位	鴨社祝		
荒木田經晃		70	正三位	內宮權宜		
賀茂	順久	69	從三位	賀茂社前神主		
中臣	延尚	80	從三位	春日社權預 (一一月一三日転正預)		一二月二八日叙正三位

×大中臣時貞 77 從三位 春日社權神主、 六月四日薨
 ×賀茂 保喬 51 從三位 賀茂社神主（一月二五日辞・薨）
 度会 貞命 61 從三位 外宮禰宜
 鴨 祐之 60 從三位 鴨社禰宜
 荒木田永親 67 從三位 内宮禰宜
 津守 國教 58 從三位 住吉社神主
 大中臣經憲 72 從三位 春日社權神主、 六月一日叙
 祝部 行茂 67 從三位 日吉社司、 六月二五日叙
 藤原 家貞 68 從三位 平野社禰宜、 二月二六日叙
 中臣 祐用 65 從三位 春日社新預、 二月二八日叙

 古宗（有徳院）の判物・朱印状は享保四年五月二一日付で
 出されている。この時に整えられた文書形式は、家重・家治
 ・家斉・家慶・家定まで踏襲され、基本的には文言の変更
 すら無い。
 73 園家では、『公卿補任』の基香²⁹（從三位、權中納言）
 ではなく、「入道前大納言」宛に朱印状が出されている。これ
 は正徳五年の基香の参議就任記事にみえる父「入道前權大納言
 基勝」である。
 74 坊城俊清⁵³（正二位、前權大納言）は三月二日辞任した
 權大納言の肩書のままで、朱印状が出されている。
 歳米を給与される堂上方及び社家・神職の從三位以上叙位が
 ますます増加しており、この傾向は幕末まで続く。

延享四年（一七四七、櫻町院五月二日讓位、桃園院即位）
 1 鷹司 輔平 9 從三位 非参議 左中将
 2 一條 兼香 56 從一位 太政大臣
 内舍人（四月二九日辞）
 2 一條 道香 26 從一位 関白・氏長者、左大臣
 摂政（五月二日為）
 3 近衛 内前 20 正二位 右大臣、 一上（正月五日）
 4 二條 宗基 21 正二位 内大臣、 左大将（四月七日辞）
 皇太子傳（三月一六日兼、五月二日止）
 5 九條 尚実 31 從二位 權大納言・ 右大将
 6 大炊御門経秀 37 正二位 權大納言
 右大将（四月一四日兼）
 右馬寮御監（七月二二日為）
 7 西園寺致季 65 從一位 前左大臣
 7 西園寺公晃 46 從二位 前權大納言
 8 三條 実顕 40 正二位 權大納言
 春宮大夫（三月一六日兼、五月二日止）
 11 花山院常雅 48 正二位 前内大臣、 二月一日叙從一位
 12 醍醐 冬熙 69 從一位 前右大臣
 12 醍醐 兼潔 31 正二位 權大納言 神宮上卿
 13 廣幡 長忠 37 正二位 前權大納言、（六月一八日辞）
 14 葉室 頼胤 51 從二位 權大納言
 （二月一日還任、一二月二二日辞）

35	34	32	32	31	29	27	26	24	22	21	20	19	18	17	14
甘露寺規長	勸修寺顯道	烏丸 光胤	烏丸 光榮	柳原 光綱	松本 宗長	唐橋 在廉	橋本 実文	難波 宗建	清閑寺秀定	鷲尾 隆熙	中院 通枝	廣橋 兼胤	上冷泉為村	中山 榮親	葉室 頼要
35	31	27	59	37	38	61	44	51	39	35	26	33	36	39	33
從三位	從三位	正四位上	正二位	從二位	從二位	從二位	正四位下	從二位	從二位	從三位	從三位	從二位	正三位	從二位	正四位上
權中納言	權中納言	參議・右大辨・造興福寺長官	前權大納言	權中納言・左衛門督・使別當	權大納言	前參議	參議・左中將	前權中納言	權中納言	參議・右衛門督	權中納言	權中納言	參議・右兵衛督・阿波權守	權大納言	參議・左大辨
二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	五月一〇日叙從二位	四月七日任	四月七日任	賀茂傳奏(九月二四日為)	七月一二日任	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	正月五日叙從三位

58	57	56	55	54	53	52	50	49	47	46	44	43	42	41	37	36
五辻 廣仲	東坊城長誠	藤谷 為香	八條 隆英	久世 通夏	萩原 兼武	高倉 永房	藤波 和忠	吉田 兼雅	持明院家胤	梅園 久季	四辻 実長	庭田 重熙	六條 有起	水無瀬經業	綾小路俊宗	姉小路公文
61	42	42	46	78	55	60	41	43	43	59	40	31	47	44	58	35
正三位	從二位	正三位	正三位	正二位	正三位	正二位	正三位	正三位	從三位	正三位	從三位	從三位	從二位	從三位	從二位	從三位
非參議	前參議	非參議	權中納言	前權大納言	非參議	前權大納言	非參議	侍從	參議・左兵衛督・讃岐權守	前參議	非參議	權中納言	前權中納言	非參議	前權中納言	參議・右中將・近江權守
二月一日叙從二位	宮内卿	大學頭	(七月一二日任、前參議より)	九月二三日薨	刑部卿	神祇大副・祭主	神祇大副	非參議	(四月七日辞全官)、八月六日薨	二月一日叙從二位	非參議	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位	二月一日叙正三位

83	81		81	79	78	76	75	74	73	72	71	70	69	67	66	64	63	61	59	58
下冷泉宗家	五條 為成	權大納言	五條 為範	土御門泰連	竹内 惟永	中園 季顯	清水谷雅季	坊城 俊将	園 基望	岩倉 恒具	山科 亮言	愛宕 通貫	平松 時行	樋口 基康	裏松 益光	山本 公尹	大宮 英季	河鱈 輝季	押小路実岑	五辻 盛仲
46	32	從三位	60	63	70	59	64	49	27	47	62	51	34	42	63	73	34	44	69	38
正三位	從三位	權大納言	從二位	正三位	正三位	從二位	正二位	正二位	從三位	正三位	從二位	正三位	從三位	正三位	正二位	正二位	從三位	正三位	正二位	從三位
民部卿	非參議	權大納言	前權中納言	非參議	非參議	前參議	前權大納言	前權大納言	參議・左中將	參議・左中將	前權中納言	非參議	非參議	非參議	前權中納言	前權大納言	非參議	非參議	前權大納言	非參議
(二月二六日兼)	二月一日叙從二位	(二月二六日任)・式部大輔	二月一日叙從二位	式部大輔			一〇月七日薨		但馬權守	(三月一〇日辭兩官)			四月二七日叙正三位	宮内卿	(四月一四日任)	九月二三日薨				

芝山	澤	澤	穗波	岡崎	飛鳥井雅重	飛鳥井雅香	花園 実廉	103	104	100	100	99	97	96	95	95	94	92	91	90	86
重豐	宣成	忠量	晴宣	国久	27	45	58	花	正三條公積	久我 通兄	久我 惟通	万里小路植房	植松 実雅	X竹屋 光兼	倉橋 泰章	倉橋 泰貞	小倉 宜季	野宮 定俊	七條 信全	今城 定種	雅富王
45	37	75	51	89	27	45	58	園	27	39	61	43	66	66	61	80	38	46	34	52	46
正三位	從三位	正三位	正三位	正二位	從三位	從二位	從二位	從三位	從三位	正二位	從一位	從二位	從三位	正三位	正三位	從二位	正四位下	正三位	從三位	從二位	正三位
非參議	非參議	非參議	非參議	前權中納言	非參議	權中納言	前參議	權中納言	權中納言	權大納言	前右大臣	權大納言	非參議	非參議	非參議	非參議	參議	前權中納言	非參議	前權中納言	非參議・神祇伯
大藏卿	二月一日叙		治部卿	(二月二六日辭)	(三月一〇日任)	民部卿	(五月二日為)	院司	(五月二日為)	賀茂傳奏	三月一〇日叙正三位	七月二七日薨				(四月七日任)	右中將				

資 料

六角	益通	65	從二位	前參議
風早	實積	57	從二位	前參議
錦織	從久	52	正三位	非參議
長谷	範昌	53	從三位	非參議
東久世通積		40	從三位	非參議
園池	房季	35	從三位	非參議
大中臣長矩		29	從三位	非參議
中臣	延晴	79	正三位	春日社正預
大中臣時令		76	正三位	春日社神主
荒木田守敬		59	正三位	内宮欄宜
中臣	宣保	75	從三位	平野社欄宜
中臣	延庸	56	從三位	春日社權預
秦	親友	79	從三位	稻荷下社神主
鴨	秀隆	69	從三位	鴨社正祝
祝部	業明	77	從三位	日吉社司
荒木田守秀		52	從三位	内宮欄宜
大中臣時方		63	從三位	春日社權神主
度会	智彦	69	從三位	外宮欄宜
度会	貞德	68	從三位	外宮欄宜
				正月二九日叙正三位
				正月二九日叙

家重（惇信院）の判物・朱印状は、延享四年八月一日付で出されている。歴代將軍の代替り、すなわち將軍宣下の直後から朱印改めの手続きを開始し、一、二年で新しい判物・朱印状を下付することは、この時から定着した。

五摂家および大臣・前大臣は「家名十殿」で表示されるため、官職名あるいは位階で宛名として表示されない（鷹司¹・5、一条²・5、近衛³・5、一条⁴・3、九条⁵・5、西園寺⁷・5、花山院¹¹・8、醍醐¹²・4、久我¹⁰⁰・4）。

70愛宕通貫は元文二年以来、年々の洪水で荒れた家領に替えて、蔵米拝領としたことが70・3に記されている。同様に97植松実雅も享保二〇年・元文元年の洪水で知行所からの収入が皆無であつたため、その後年々、蔵米拝領とした由が97・4にみえる。

96竹屋光兼（正三位、非参議）は七月二十七日に六十六歳で薨じたため、八月十一日付の朱印状は嗣子の市丸に充てて出された。『公卿補任』明和五年条の竹屋光豫の履歴には、故正三位光兼卿男、享保二年三月二一日誕生、元文五年正月六日叙爵（五歳）、寛延二年五月二八日元服昇殿（一四歳）、同日治部権大輔從五位上とある。市丸はのちの光豫である。本書にみえる幼名の多くについては、このような方法で成人後の名を確かめられる。

寶曆二年 (一七六二、桃園院)

15	14	14	13	12	11	11	8	8	7	7	6	5	5	4	3	2	2	1	
正親町実連	葉室頼要	葉室頼胤	廣幡輔忠	醍醐兼潔	花山院兼濟	花山院常雅	三條季晴	三條実顯	西園寺賞季	西園寺公晃	大炊御門家孝	九條道前	九條尚実	二條重良	近衛内前	一條輝良	一條道香	鷹司輔平	
43	48	66	21	46	27	63	30	55	20	61	16	17	46	12	35	7	41	24	
從二位	從二位	從一位	從二位	從一位	從二位	從一位	從二位	從一位	正三位	從一位	正三位	正二位	從一位	正三位	從一位	從三位	從一位	正二位	
權大納言	權大納言	權大納言	前權大納言	前内大臣	權大納言	前右大臣	權大納言	前右大臣	權中納言	前内大臣	權中納言	内大臣・右大將	左大臣	權大納言	関白、七月二七日為摂政	非参議、左中將	前左大臣・前関白	右大臣・左大將	
一〇月一五日辞	九月二四日叙從二位				一一月六日改名長熙			一〇月二五日任權大納言		一〇月二五日任權大納言									

37	36	35	29	29	28	27	26	24	24	23	22	21	19	18	18	17	17	16	
綾小路俊宗	姉小路公文	甘露寺規長	松木宗濟	松木宗長	三條西実称	唐橋在家	橋本実文	難波宗建	難波宗城	四條隆叙	清閑寺益房	鷲尾隆熙	廣橋兼胤	上冷泉為泰	上冷泉為村	中山愛親	中山栄親	油小路隆前	
73	50	50	23	53	36	34	59	66	39	33	27	50	48	28	51	22	54	33	
正二位	正二位	正二位	從三位	正一位	從二位	從三位	從二位	正二位	正三位	從三位	從三位	從二位	正二位	從三位	正二位	從三位	正二位	正三位	
前權大納言	前權大納言	前權大納言	非参議、一月二八日叙從三位	前權大納言	前權大納言	非参議、右大辨	前權大納言	前權大納言	参議・侍從、一〇月二五日任權中納言	非参議、一一月五日任参議、一一月一九日正三位	權中納言、九月二四日叙正三位	權大納言	權大納言	非参議、一一月一九日任左兵衛督	前權大納言、民部卿	一〇月二五日任權中納言	参議・右中將	前權大納言、左衛門督・賀茂傳奏	

37	綾小路有美	41	從二位	權中納言
38	高辻 家長	48	從二位	前權中納言
40	×千種 有補	46	正三位	參議・右中將・甲斐權守、 九月二四日辭、二五日薨
41	×水無瀬師成	29	從三位	非參議、二月五日薨
42	六條 有起	62	正二位	前權大納言
42	六條 有榮	36	從三位	參議・左中將
43	庭田 重熙	46	正二位	前權大納言
44	四辻 公亨	35	正三位	權中納言、三月二四日叙從二位
45	壬生 基貫	38	正三位	非參議
46	梅園 実繩	36	從三位	非參議、九月二八日任左兵衛督
47	持明院宗時	31	從三位	非參議、一月二八日叙從三位
49	吉田 兼雄	58	從二位	非參議、神祇權大副
50	藤波 和忠	56	從二位	非參議、祭主（二月二二日辭） 神祇大副
53	萩原 兼武	70	從二位	非參議
53	萩原 兼領	45	正三位	非參議、一〇月二五日任宮内卿
54	久世 榮通	43	從三位	非參議、一二月一九日叙正三位
57	東坊城綱忠	57	正二位	前權大納言、式部大輔
58	×五辻 盛仲	53	正三位	非參議、治部卿、 九月二四日辭、二五日薨
64	山本 実観	44	正三位	前參議
67	樋口 基康	57	從二位	前參議

67	樋口 冬康	36	從三位	非參議、九月二八日任治部卿
68	富小路総直	44	正三位	非參議
69	平松 時行	49	從二位	權中納言
70	愛宕 通貫	66	從二位	前權大納言
70	愛宕 通敬	39	從三位	非參議
71	山科 頼言	41	從二位	權中納言
73	園 基衡	42	從二位	前權大納言
75	清水谷実栄	41	從二位	一〇月一七日叙正二位 權大納言、大歌所別当
77	石井 行忠	47	正三位	參議
79	上御門泰邦	52	正三位	非參議、陰陽頭
83	下冷泉宗家	61	正二位	前權大納言
84	滋野井公麗	30	從三位	參議・右衛門督
86	資頼王	32	從三位	非參議、神祇伯、一月二八日叙
88	阿野 公繩	35	正三位	參議・左中將
92	野宮 定之	42	正三位	權中納言、一〇月二五日辭
94	小倉 宣季	53	從二位	權大納言、一〇月一五日辭
94	小倉 貞季	29	正四位下	一〇月一七日叙正二位
97	植松 賞雅	58	從二位	前參議
99	万里小路植房	58	正二位	前權大納言、按察使
99	万里小路韶房	34	從三位	參議・左大辨・造興福寺長官、 一〇月二五日任權中納言

飛鳥井雅香	60	正二位	前權大納言
飛鳥井雅重	42	從二位	權中納言
池尻 榮房	41	正三位	九月二八日任參議
石山 基名	43	正三位	十一月五日任參議
四條 隆叙	33	正三位	十一月五日任參議
芝山 重豐	53	從二位	前權中納言
園池 房季	50	從二位	前參議
左兵衛督 (九月二八日辭督)			
穗波 晴宣	66	正三位	非參議
山井 氏榮	48	正三位	非參議、大藏卿
堤 代長	47	正三位	非參議、刑部卿
澤 宣成	52	正三位	非參議
石山 基名	43	正三位	右兵衛督、十一月五日任參議
池尻 榮房	41	正三位	宮内卿、九月二八日任參議
×藤原 俊信	92	正三位	非參議、元候鷹司家、九月三日薨
高丘 敬季	42	正三位	非參議
風早 公雄	42	正三位	非參議
伏原 宣條	43	正三位	非參議
[清原]			
石野 基棟	43	從三位	非參議、一〇月一七日叙正三位
北小路光香	43	從三位	非參議
長谷 範高	42	從三位	非參議
大原 重度	38	從三位	非參議
鴨 俊永	51	正三位	鴨御祖社正禰宜

荒木田守秀	67	正三位	内宮一欄宜
度会 常倚	56	正三位	外宮一欄宜
大中臣長矩	44	正三位	伊勢大宮司・神祇少副
中臣 延榮	68	正三位	春日社正預
大中臣時貞	33	正三位	春日社神主
中臣 祐益	52	從三位	春日社若宮神主
×荒木田經林	64	從三位	内宮二欄宜、四月二日薨
度会 意彦	40	從三位	外宮二欄宜
藤原 祐壽	64	從三位	平野社禰宜
×祝部 友治	61	從三位	日吉社社司、一〇月一四日薨
祝部 業德	61	從三位	日吉社社司
中臣 祐處	54	從三位	春日社次預
賀茂 應平	62	從三位	別雷社前神主
大中臣經芳	54	從三位	春日社權神主
狛 宗房	67	從三位	大原野社神主
一二月一九日叙從三位			
家治 (湊明院) の判物・朱印状はすべて宝曆一二年八月			
一一日付である。五撰家以外の「何々殿」表記は、西園寺			
7・7、転法輪 (三条) 8・6、花山院11・9、醍醐			
12・4などにみられる。			
45壬生基貴 (正三位)、97植松賞雅 (從二位、前參議) は			
ともに藏米拝領である。池尻から大原までの各家と同様である。			

『公卿補任』への登載人数は年次をおつて、ますます増加している。

天明七年（一七八七、光格天皇）

1 鷹司 輔平 49 從一位 左大臣（五月二六日辞）、三月一日任関白

1 鷹司 政熙 27 正二位 權大納言・左大將

2 一條 輝良 32 從一位 右大臣、五月二六日転左大臣

2 一條 忠良 14 從二位 權中納言・左中將

3 近衛 経熙 27 從一位 内大臣、五月二六日転右大臣

4 二條 治孝 34 正二位 權大納言・右大將

5×九條 尚実 71 從一位 前太政大臣、関白（三月一日辞）

九月二二日薨

6 大炊御門家孝 41 正二位 權大納言、五月二六日任内大臣

7 西園寺賞季 45 正二位 前内大臣

8 三條 実起 32 正二位 權大納言

8 三條 公修 14 正三位 非参議、右中將

9 德大寺実祖 35 正二位 權大納言・大歌所別当・院御廐別当

9 德大寺公迪 17 從三位 非参議、左中將

10 今出川実種 34 正二位 權大納言・内教坊別当

11 花山院愛徳 33 正二位 權大納言・神宮上卿

12 醍醐 輝久 28 正二位 權中納言

13 廣幡 前基 26 正二位 權中納言

14 葉室 頼要 73 從一位 前權大納言

14 葉室 頼熙 38 從三位 参議・左大辨・勘解由長官・造興福寺長官

15 正親町実連 68 從一位 前權大納言

15 正親町公明 44 正二位 前權大納言

16 油小路隆前 58 正二位 前權大納言

16 油小路隆彭 29 從三位 参議・左兵衛督

17 中山 愛親 47 正二位 前權大納言

17 中山 忠尹 32 從二位 權中納言

18 上冷泉為泰 53 正二位 前權中納言・民部卿、一〇月一三日任權大納言

18 上冷泉為章 36 正三位 参議・右衛門督・阿波權守

19 廣橋 伊光 43 正二位 前權大納言

20 中院 通古 38 正二位 權中納言、五月二六日任權大納言

21 鷲尾 隆建 47 正二位 權中納言・賀茂傳奏

22 清閑寺益房 52 正二位 權大納言（一〇月一日辞）

23 四條 隆叙 58 正二位 前權大納言

23 四條 隆師 32 正三位 非参議

24 難波 宗城 64 正二位 前權大納言

40	千種	有政	45	從二位	參議
39	東園	基辰	45	從二位	前權中納言
38	高辻	胤長	48	正二位	前權中納言
37	綾小路俊資		30	正三位	非參議、五月二六日任宮内卿
37	綾小路有美		66	正二位	前權中納言・按察使
36	姉小路公聰		39	正三位	任參議・左中將、五月二六日任權中納言
35	甘露寺篤長		39	正三位	權中納言
34	勸修寺經逸		40	從二位	權中納言・左衛門督・使別当
33	藪保季		57	從二位	前參議、七月一三日任權中納言
32	烏丸光祖		42	正二位	權中納言、五月二六日任權大納言、七月一日辞
31	柳原紀光		42	正二位	前權大納言
30	日野資矩		32	正二位	權中納言
30	日野資枝		51	正二位	前權大納言
29	松本宗美		48	正二位	權大納言、五月二〇日辞
28	三條西実称		61	正二位	前權大納言
28	三條西延季		38	正三位	參議・左中將、五月二六日任權中納言
27	唐橋在熙		31	正三位	非參議、式部權大輔
27	唐橋在家		59	正二位	前權大納言
26	橋本実理		62	正二位	前權大納言
25	櫛笥隆望		63	正二位	前權大納言

52	高倉	永範	35	正三位	非參議、太宰大貳
51	堀河	康実	47	正三位	非參議、左京大夫
50	藤波	寬忠	29	從三位	非參議、祭主・神祇大副、一月二日叙正三位
50	藤波	季忠	49	從二位	非參議、八月一九日任神祇權大副
49	吉田	良連	26	從三位	非參議、侍從
49	吉田	良俱	49	從二位	非參議、神祇權大副、八月一九日薨
48	伏原	宣光	38	正三位	非參議、侍從
47	持明院基武		31	正三位	非參議
47	持明院宗時		56	從二位	前參議
46	梅園	実繩	61	從二位	前參議
45	壬生	基貫	63	正二位	前參議
44	四辻	実駿	31	正四位下	五月二六日任參議・右中將
44	庭田	重嗣	31	正三位	參議・左近衛權中將・院別当
43	公亨		60	正二位	前權大納言
42	六條	有庸	36	正三位	參議・右中將
42	六條	有榮	61	正二位	前權大納言、六月九日薨
41	水無瀬忠成		52	正三位	宮内卿、五月二六日任參議・右中將

53	萩原 員幹 48	正三位	非参議	八月二八日任刑部卿 刑部卿（八月一六日辞）
54	久世 通根 43	正三位	非参議	
55	八條 隆輔 52	正三位	非参議	
56	藤谷 為敦 37	正三位	非参議	
57	東坊城益良 41	正三位	非参議	
58	五辻 順仲 43	正三位	非参議	式部大輔 治部卿
59	押小路実富 39	正三位	非参議	
60	西大路隆良 32	正三位	非参議	非参議
61	河鰭 実祐 30	正三位	非参議	
62	西洞院信庸 30	正三位	非参議	非参議
63	大宮 貞季 45	正三位	非参議	
64	山本 実観 69	正二位	前権中納言	前権中納言
64	山本 公達 43	正三位	非参議	
65	高野 保香 41	正三位	非参議	大藏卿
66	裏松 謙光 47	正三位	非参議	
67	樋口 宜康 34	正三位	非参議	彈正大弼
68	富小路良直 43	正三位	非参議	
69	平松 時章 34	正三位	非参議	正五位叙正三位
70	愛宕 通敬 64	正二位	前権中納言	
70	愛宕 通直 41	正三位	非参議	九月一日薨
71	山科 忠言 26	正三位	非参議	

内蔵頭・権中将、
一二月一九日叙正三位

100	万里小路政房 59	正二位	前権大納言	前権大納言・院執権
99	久我 信通 44	正二位	権大納言	
	池尻 栄房 66	正二位	前権中納言	七月一〇日辞
	園池 房季 75	正二位	前権大納言	
	石山 基名 68	正二位	前権中納言	前権中納言
	石野 基棟 68	正二位	前権中納言	
	×風早 公雄 67	正二位	前権中納言	五月二六日叙正二位 八月一四日薨
	大原 重度 63	正二位	前権中納言	
	高丘 敬季 67	正二位	前参議	前参議
	堤 栄長 53	正二位	前参議	
	梅小路定福 45	正三位	前参議	前参議
	芝山 持豊 46	正三位	前参議	
	伏原 宣條 68	正二位	非参議	〔清原〕
	慈光寺澄仲 75	正二位	非参議	
	豊岡 尚資 49	正三位	非参議	右京大夫
	藤井 充行 66	正三位	非参議	
	山井 仍敦 49	正三位	非参議	左京権大夫
	高丘 紹季 44	正三位	非参議	
	石山 基陳 44	正三位	非参議	修理大夫
	錦小路頼尚 45	正三位	非参議	
	東久世通武 40	正三位	非参議	

町尻	量原	47	正三位	非参議	
櫻井	供敦	46	正三位	非参議	
石野	基綱	37	正三位	非参議	
船橋	則賢	30	從三位	非参議、	明経博士
飛鳥井雅威		30	正三位	非参議、	侍從
入江	相永	59	從三位	非参議	
澤	宣維	39	從三位	非参議	
桑原	為弘	35	從三位	非参議	
藤原	資邑	75	從三位	非参議、	元候二條家
高松	季昵	33	從三位	非参議	
大原	重尹	31	從三位	非参議	
堤	敬長	33	從三位	非参議、	五月二六日叙
六角	光通	32	從三位	非参議、	右權中將、
一二月一九日叙					
鴨	秀長	68	正三位	非参議、	御祖社正祝
中臣	延樹	68	正三位	非参議、	春日社正預
秦	相榮	59	正三位	松尾社神主	
賀茂	保韶	57	正三位	別雷社前神主	
大中臣長堯		48	正三位	皇太神宮司・	神祇少副
荒木田経高		52	正三位	内宮一欄宜	
賀茂	業久	48	正三位	別雷社正欄宜	
大中臣時童		52	正三位	春日社神主	

度会	常陳	56	正三位	外宮一欄宜	
鴨	光條	61	從三位	御祖社權祝	
中臣	光知	68	從三位	春日社加任預	
鴨	祐喜	55	從三位	御祖社正欄宜	
荒木田氏倫		44	從三位	内宮二欄宜	
中臣	祐雅	53	從三位	春日社若宮神主	
大中臣成隆		51	從三位	春日社權神主	
秦	相養	41	從三位	松尾社正欄宜	
秦	榮忠	35	從三位	松尾社正祝	
賀茂	保麗	36	從三位	別雷社神主	
度会	榮彦	48	從三位	外宮二欄宜	
秦	親臣	53	從三位	稻荷下社神主	
荒木田経相		48	從三位	内宮三欄宜	
荒木田定綱		46	從三位	内宮四欄宜	
度会	常古	41	從三位	外宮三欄宜	
度会	言彦	46	從三位	外宮四欄宜	
秦	公林	52	從三位	稻荷下社神主、	二月二七日叙

一 一代家斉は天明七年三月に將軍宣下に伴う領知判物・朱印の担当責任者を任命しており、翌四月には朱印改め関係の資料提出を武家伝奏を通して命じたらしく、各家から一斉に判物・朱印状、知行所村割および必要に応じて差出書付を提出している。本書がそれらの写しであることは、くりかえし述

料 資

べた。提出日を記しているのは、次の通りである。

四月一〇日（転法輪すなわち三条実起^{8・7}）、四月一二日（花山院愛徳^{11・10}、園家^{73・7}）、反四月一三日（広幡家^{13・6}、唐橋家^{27・6}、岩倉家^{72・6}、坊城俊親^{74・7}、清水谷家^{75・4}、清水谷公壽^{75・5}、五条家^{81・4}、五条為徳^{81・5}四月一四日（高辻家^{38・4}、高辻胤長^{38・5}、伏原家^{48・6}、大宮家^{63・4}、大宮貞季^{63・6}、白川家^{86・7}、小倉家^{94・4}、小倉見季^{94・5}）、四月一五日（松木宗美^{29・5}、藤波家^{50・7}、今城家^{90・6}、今城定成^{90・7}、植松家^{97・4}）、五月一〇日（上御門家^{79・11}、五月一日（二条殿^{4・6}）、閏六月二三日（花園実章^{103・1}、正親町三条公則^{104・1}）七月五日（壬生基貫^{45・7}）に前後する「十月十四日」とある壬生家^{45・4}は七月の誤りであろう。愛宕通直も同月五日に差出文書を提出している（70・3）。七月とのみあるのは三室戸能光^{85・5}である。

本書の配列順通りに並べた名簿では、171の家がすべて揃い、72⁹⁸、101¹⁰²・103が欠ける。これらの当主は当然四位以下で、非参議である。

この間に宛名の武家伝奏は、四月までの中山前大納言愛親と万里小路前大納言政房から、五月には油小路前大納言隆前と久我大納言信通、七月には万里小路前大納言政房と久我大納言信通と変転している。

この準備をへて出された家斉の判物・朱印状は天明八年九月

一日付で下付された。

その後、一二代家慶の判物・朱印状は天保一〇年（一八三九）九月一日付で、一三代家定の判物・朱印状は安政二年（一八五五）九月一日付で出されている。概要はすでに三の表②に示した通りである。家茂・慶喜は幕末の急激な政変のなかで、就任直後の朱印改めを行うに至らなかった。

五 堂上方の名宛人

以上の作業を経て、明らかにできた判物・朱印状の各家における名宛人を特定してみよう。特定の根拠として、備考欄に『公卿補任』の該当年次にあらわれる人物はa、『公卿補任』の初見履歴にもとづく人物はb、太田亮『堂上家系譜大成』（昭和一六年）にもとづく人物c、『弁官補任』の該当年次にあらわれる人物はd、『地下家伝』で確かめた人物はe、として示し、天明七年の記録に見える名はf、とした。年齢の判明するものは名前の下に記した。

1・1 元和三年	鷹司殿	鷹司信房 ⁵³	信尚 ²⁸	a
・2 寛文五年	鷹司殿	教平 ⁵⁷	房輔 ²⁹	a
・3 貞享二年	鷹司殿	房輔 ⁴⁹	兼熙 ²⁷	a
・4 享保四年	鷹司殿	兼熙 ⁶¹		a

・5 延享四年 鷹司殿 輔平 ⁹ a	・5 宝曆一二年 鷹司殿 輔平 ²⁴ a	・5 天明七年 鷹司殿 輔平 ⁴⁹ a	2 ・1 元和三年 一条殿 一条兼遐 ¹³ a	・2 寛文五年 一条殿 教輔 ³³ a	・3 貞享二年 一条殿 冬絳 ³⁴ a	・4 享保四年 一条殿 兼香 ²⁸ a	・5 延享四年 一条殿 兼香 ⁵⁶ a	・6 宝曆一二年 一条殿 道香 ⁴¹ a	・7 天明七年 一条殿 輝良 ³² a	3 ・1 元和三年 近衛殿 近衛信尋 ¹⁹ a	・2 寛文五年 近衛殿 基熙 ¹⁸ a	・3 貞享二年 近衛殿 基熙 ³⁸ a	・4 享保四年 近衛殿 基熙 ⁷² 家久 ³³ a	・5 延享四年 近衛殿 内前 ²⁰ a	・6 宝曆一二年 近衛殿 内前 ³⁵ a	・15 天明七年 近衛殿 経熙 ²⁷ a	4 ・1 貞享二年 二条殿 二条綱平 ¹⁴ a	・2 享保四年 二条殿 綱平 ⁴⁸ 占忠 ³¹ a	・3 延享四年 二条殿 宗基 ²¹ a	7 ・1 元和三年 西園寺内大臣殿 西園寺実益 ⁵⁸ a	・2 元和三年 西園寺中納言殿 公益 ³⁶ a	・3 寛文五年 西園寺殿 実晴 ⁶⁵ a	5 ・1 元和三年 九条殿 九条忠榮 ³² a	・2 寛文五年 九条殿 兼晴 ²⁵ a	・3 貞享二年 九条殿 輔実 ¹⁷ a	・4 享保四年 九条殿 輔実 ⁵¹ a	・5 延享四年 九条殿 尚実 ³¹ a	・6 宝曆一二年 九条殿 尚実 ⁴⁶ a	・7 天明七年 九条殿 尚実 ⁷¹ a	6 ・1 元和三年 大炊御門侍從殿 大炊御門経敦 ⁵ b	・2 寛文五年 大炊御門殿 経孝 ⁵³ a	・3 寛文一〇年 大炊御門殿 経孝 ⁵⁸ a	・4 貞享二年 大炊御門殿 経光 ⁴⁸ a	・5 享保四年 大炊御門侍從殿 経秀 ⁹ b	・6 延享四年 大炊御門右大將殿 経秀 ³⁷ a	・7 宝曆一二年 大炊御門中納言殿 家孝 ¹⁶ a	・8 天明七年 大炊御門家 家孝 ⁴¹ a
--	--	---	--	---	---	---	---	--	---	--	---	---	---	---	--	--	--	---	---	---	---	--	--	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	--	--	---	---

資 料

・4 享保四年	西園寺大納言殿	致季 37	a
・5 延享四年	西園寺殿	致季 65	a
・6 宝暦一二年	西園寺殿	賞季 20	a
・7 天明七年	西園寺殿	賞季 45	a
・1 寛文五年	転法輪殿	公富 46	a
・2 寛文一〇年	転法輪殿 実秀 73	実通 21	a
・3 貞享二年	転法輪大納言殿	実通 36	a
・4 享保四年	転法輪殿	公充 29	a
・5 延享四年	転法輪大納言殿	実顯 40	a
・6 宝暦一二年	転法輪殿	季晴 30	a
・7 天明七年	転法輪家	実起 32	a
・1 元和三年	徳大寺侍従とのへ 徳大寺公信 13	公信 60	b
・2 寛文五年	徳大寺殿	実維 30	a
・3 貞享二年	徳大寺亀千代丸	公全 8	b
・4 享保四年	徳大寺右大將殿	公全 42	a
・5 延享四年	徳大寺中将殿	公城 19	a
・6 宝暦一二年	徳大寺侍従殿	実祖 10	b
・7 天明七年	徳大寺大納言殿	実祖 35	a
・1 元和三年	菊亭中納言殿	菊亭宣季 22	a
・2 寛文五年	菊亭大納言殿	公規 28	a

・3 貞享二年	菊亭殿	伊季 26	a
・5 享保四年	菊亭大納言殿	公詮 24	a
・7 延享四年	菊亭春丸殿	公言 10	b
・9 宝暦一二年	菊亭侍従殿	実種 9	b
・11 天明七年	菊亭大納言殿	実種 34	a
・1 慶長一八年	花山院侍従とのへ	定好 15	b
・2 慶長一八年	花山院大納言殿	定熙 56	a
・3 元和三年	花山院大納言とのへ	定熙 60	a
・4 元和三年	花山院中将殿	定好 19	a
・5 寛文五年	花山院殿	定誠 26	a
・6 貞享二年	花山院殿	定誠 46	a
・7 享保四年	花山院前大納言殿	持実 50	a
・8 延享四年	花山院殿	常雅 48	a
・9 宝暦一二年	花山院殿	常雅 27	a
・10 天明七年	花山院大納言家	愛徳 33	a
・1 貞享二年	醍醐大納言殿	醍醐冬基 38	a
・2 享保四年	醍醐大納言殿	昭尹 41	a
・3 延享四年	醍醐殿	兼潔 31	a
・4 宝暦一二年	醍醐殿	兼潔 46	a
・5 天明七年	醍醐中納言殿	輝久 28	a

16	・1 寛文五年 ・2 貞享二年	油小路大納言殿 油小路宰相殿	油小路隆貞 ⁴¹ 隆真 ²⁶	a	a
15	・1 元和三年 ・2 寛文五年 ・3 貞享二年 ・4 享保四年 ・5 延享四年 ・6 宝暦一二年 ・7 天明七年	正親町少将とのへ 正親町前大納言殿 正親町前大納言殿 正親町一位殿 正親町頭中将とのへ 正親町大納言殿 正親町一位家	正親町季俊 ³² 実豊 ⁴⁷ 実豊 ⁶⁷ 公通 ⁶⁷ 実連 ²⁸ 実連 ⁴³ 実連 ⁶⁷	b	a
14	・1 寛文五年 ・2 享保四年 ・3 延享四年 ・4 宝暦一二年 ・5 天明七年	葉室大納言殿 葉室権右中弁とのへ 葉室大納言殿 葉室一位殿 葉室一位家	葉室頼業 ⁵¹ 頼胤 ²³ 頼胤 ⁵¹ 頼胤 ⁶⁶ 頼要 ⁷³	a	a
13	・1 寛文五年 ・2 貞享二年 ・3 享保四年 ・4 延享四年 ・5 宝暦一二年 ・6 天明七年	広幡安丸とのへ 広幡三位中将殿 広幡大納言殿 広幡前大納言殿 広幡大納言殿 広幡中納言殿	広幡豊忠 ⁶ 豊忠 ²⁰ 豊忠 ⁵⁴ 長忠 ³⁷ 輔忠 ²¹ 前基 ²⁶	b	a

19	・1 元和三年	広橋大納言殿	広橋兼勝 ⁶⁰	a
18	・1 元和三年 ・2 元和三年 ・3 寛文五年 ・4 貞享二年 ・5 享保四年 ・6 宝暦一二年 ・7 天明七年	冷泉中納言殿 冷泉少将とのへ 冷泉中将とのへ 冷泉中将とのへ 冷泉前中納言殿 冷泉宰相殿 冷泉民部卿殿 冷泉民部卿家	冷泉為満 ⁵⁹ 為頼 ²⁶ 為清 ³⁴ 為綱 ²² 為綱 ⁵⁶ 為村 ³⁶ 為村 ⁵¹ 為泰 ⁵³	a
17	・1 元和三年 ・2 寛文五年 ・3 貞享二年 ・4 享保四年 ・5 延享四年 ・6 宝暦一二年 ・7 天明七年	中山前大納言殿 中山前中納言殿 中山宰相殿 中山大納言殿 中山大納言殿 中山前大納言家 中山前大納言家	中山慶親 ⁵² 英親 ³⁹ 篤親 ³⁰ 兼親 ³⁶ 栄親 ³⁹ 栄親 ⁵⁴ 愛親 ⁴⁷	a
16	・3 享保四年 ・4 延享四年 ・5 宝暦一二年 ・6 天明七年	油小路前大納言殿 油小路少将とのへ 油小路中納言殿 油小路前大納言家	隆真 ⁶⁰ 隆前 ¹⁸ 隆前 ³³ 隆前 ⁵⁸	a

資料

[illegible]

25	・1 寛文五年	櫛笥侍従とのへ	櫛笥隆慶14	a	b
・2 貞享二年	櫛笥三位殿	隆慶34	a	b	
24	・1 貞享二年	難波前中納言殿	難波宗量41	a	
・2 享保四年	難波中将とのへ	宗建23	b		
・3 延享四年	難波前中納言殿	宗建51	a		
・4 宝暦一二年	難波前大納言殿	宗建66	a		
・5 天明七年	難波前大納言家	宗城64	a		
23	・1 寛文五年	四条中将とのへ	四条隆音29	b	b
・2 貞享二年	四条中将とのへ	隆盈23	b		
・3 享保四年	四条前中納言殿	隆安57	a		
・4 延享四年	四条少将とのへ	隆叙18	b		
・5 宝暦一二年	四条三位殿	隆叙33	a		
・6 天明七年	四条前大納言	隆叙58	a		
22	・1 元和三年	清閑寺宰相殿	清閑寺共房29	a	
・2 寛文五年	清閑寺前大納言殿	共綱54	a		
・3 貞享二年	清閑寺大納言殿	熙房53	a		
・4 享保四年	清閑寺中納言殿	治房30	a		
・5 延享四年	清閑寺大納言殿	秀定39	a		
・6 宝暦一二年	清閑寺中納言殿	益房27	a		
・7 天明七年	清閑寺大納言家	益房52	a		

[illegible]

・5 延享四年	三条西中将とのへ	実称 21	b
・6 宝暦一二年	三条西前大納言殿	実称 36	a
・7 天明七年	三条西前大納言家	実称 61	a
29			
・1 貞享二年	松木前大納言殿	松木宗条 61	a
・2 享保四年	松木儀同殿	宗顯 62	a
・3 延享四年	松木大納言殿	宗長 38	a
・4 宝暦一二年	松木前大納言殿	宗長 53	a
・5 天明七年	松木大納言家	宗美 48	a
30			
・1 元和三年	日野大納言殿	日野資勝 41	a
・2 寛文五年	日野前大納言殿	弘資 49	a
・3 貞享二年	日野前大納言殿	弘資 69	a
・4 享保四年	日野左中弁とのへ	資時 30	b c
・5 延享四年	日野権右少弁とのへ	資枝 11	b c
・6 宝暦一二年	日野左中弁とのへ	資枝 26	b c
・7 天明七年	日野前大納言家	資枝 51	a
31			
・1 寛文五年	柳原前大納言殿	柳原資行 46	a
・2 貞享二年	柳原大納言殿	資廉 42	a
・3 享保四年	柳原次郎丸とのへ	光綱 9	b
・4 延享四年	柳原中納言殿	光綱 37	a
・5 宝暦一二年	柳原右少弁とのへ	紀光 17	b c

料

資

・ 6 天明七年 柳原前大納言

紀光 42

a

32
・ 1 元和三年

烏丸大納言殿

烏丸光広 39

a

・ 2 寛文五年

烏丸前大納言殿

資慶 44

a

・ 3 貞享二年

烏丸大納言殿

光雄 39

a

・ 4 享保四年

烏丸頭介とのへ

光榮 31

a

・ 5 延享四年

烏丸前大納言殿

光榮 59

a

・ 6 宝暦一二年

烏丸侍従とのへ

光祖 17

b

・ 7 天明七年

烏丸中納言家

光祖 42

a

33
・ 1 元和三年

高倉中将とのへ

高倉嗣良 25

b

・ 2 寛文五年

藪前中納言殿

藪 嗣孝 47

a

・ 3 貞享二年

藪宰相殿

嗣章 36

a

・ 4 享保四年

藪中将とのへ

嗣義 36

c

・ 5 延享四年

藪侍従とのへ

保季 17

b

・ 6 宝暦一二年

藪少将とのへ

保季 32

b

・ 7 天明七年

藪前宰相家

保季 57

a

34
・ 1 元和三年

勸修寺左兵衛権佐殿

勸修寺経広 12

b

・ 2 寛文五年

勸修寺前大納言殿

経広 60

a

・ 3 貞享二年

勸修寺前大納言殿

経慶 42

a

・ 4 享保四年

勸修寺前中納言殿

尹隆 44

a

・ 5 延享四年

勸修寺中納言殿

顯道 31

a

・ 6 宝暦一二年 勸修寺侍従とのへ
・ 7 天明七年 勸修寺中納言家経逸 15
経逸 40

a b

35
・ 1 元和三年

甘露寺治部大輔とのへ

時長 12

c

・ 2 寛文五年

甘露寺左少介とのへ

方長 18

b

・ 3 貞享二年

甘露寺前大納言殿

方長 38

a

・ 4 享保四年

甘露寺六丸とのへ

規長 7

b

・ 5 延享四年

甘露寺中納言殿

規長 35

a

・ 6 宝暦一二年

甘露寺前大納言殿

規長 50

a

・ 7 天明七年

甘露寺中納言家

篤長 39

a

36
・ 1 寛文五年

姉小路少将とのへ

姉小路公量 15

b

・ 2 貞享二年

姉小路中納言殿

公量 35

a

・ 3 享保四年

姉小路前大納言殿

公量 69

a

・ 4 延享四年

姉小路宰相殿

公文 35

a

・ 5 宝暦一二年

姉小路前大納言殿

公文 50

a

・ 6 天明七年

姉小路宰相中将家

公聡 39

a

37
・ 1 寛文五年

綾小路三位殿

綾小路俊景 34

a

・ 2 貞享二年

綾小路前中納言殿

俊景 54

a

・ 3 享保四年

綾小路前中納言殿

有胤 56

a

・ 4 延享四年

綾小路前中納言殿

俊宗 58

a

・ 5 宝暦一二年

綾小路前大納言殿

俊宗 73

a

41	・1 元和三年	水無瀬宰相殿	水無瀬氏成 47	a
・2	寛文五年	水無瀬前宰相殿	氏信 47	a
38	・1 享保四年	高辻三位殿	高辻總長 32	a
・2	延享四年	高辻少納言とのへ	家長 33	b
・3	宝暦一二年	高辻前中納言殿	家長 48	a
・4	天明七年	高辻前中納言家	胤長 48	a
39	・1 寛文五年	東園中納言殿	東園基賢 40	a
・2	貞享二年	東園中納言殿	基量 33	a
・3	享保四年	東園大納言殿	基長 45	a
・4	延享四年	東園潔丸とのへ	基辰 5	b
・5	宝暦一二年	東園少将とのへ	基辰 20	b
・6	天明七年	東園前中納言家	基辰 45	a
40	・1 寛文五年	千種中納言殿	千種有能 51	a
・2	貞享二年	千種前大納言殿	有能 51	a
・3	享保四年	千種三位殿	有統 33	a
・4	延享四年	千種少将とのへ	有補 31	b
・5	宝暦一二年	千種宰相殿	有補 46	a
・6	天明七年	千種宰相家	有政 45	a
42	・1 元和三年	六条侍從殿	六条有純 14	b
・2	寛文五年	六条前中納言殿	有和 43	a
・3	貞享二年	六条前中納言殿	有和 63	a
・4	享保四年	六条前中納言殿	有藤 48	a
・5	延享四年	六条前中納言殿	有起 47	a
・6	宝暦一二年	六条前大納言殿	有起 62	a
・7	天明七年	六条前大納言家	有榮 61	a
43	・1 寛文五年	庭田侍從とのへ	庭田雅秀 18	c
・2	貞享二年	庭田中納言殿	重条 36	a
・3	享保四年	庭田宰相殿	重孝 28	a
・4	延享四年	庭田中納言殿	重熙 31	a
・5	寶暦一二年	庭田前大納言殿	重熙 46	a
・6	天明七年	庭田宰相中將家	重嗣 31	a
44	・1 寛文五年	四辻前大納言殿	四辻公理 56	a
・2	貞享二年	四辻少将とのへ	公韶 16	b
・3	貞享二年	水無瀬前中納言殿	氏信 67	a
・4	享保四年	水無瀬中納言殿	氏孝 45	a
・5	延享四年	水無瀬三位殿	経業 44	a
・6	宝暦一二年	水無瀬助丸とのへ		
・7	天明七年	水無瀬宮内卿家（忠成力成貞力）		

・3 享保四年	四辻侍従とのへ	実長 ¹²	b
・4 延享四年	四辻三位殿	実長 ⁴⁰	a
・5 宝暦一二年	四辻中納言殿	公享 ³⁵	a
・6 天明七年	四辻大納言家	公享 ⁶⁰	a
・15 貞享二年	葉川少将とのへ	葉川基淳 ¹⁹	c
・2 享保四年	壬生中将とのへ	壬生俊平 ²⁶	b
・5 天明七年	壬生前宰相家	基貫 ⁶³	a
・16 寛文五年	梅園少将とのへ	梅園季保 ²⁰	b
・2 貞享二年	梅園宰相殿	季保 ⁴⁰	a
・3 享保四年	梅園前宰相殿	実邦 ⁵⁰	a
・4 延享四年	梅園前宰相殿	久季 ⁵⁹	a
・5 宝暦一二年	梅園三位殿	実縄 ³⁶	a
・6 天明七年	梅園前宰相家	実縄 ⁶¹	a
・1 元和三年	持明院侍従とのへ	持明院基定 ¹¹	b
・2 寛文五年	持明院前大納言殿	基定 ⁵⁹	a
・3 貞享二年	持明院前宰相殿	基時 ⁵¹	a
・4 享保四年	持明院三位殿	基雄 ³³	a
・5 延享四年	持明院侍従とのへ	永武 ¹⁶	b
・6 宝暦一二年	持明院三位殿	宗時 ³¹	a
・7 天明七年	持明院前宰相家	宗時 ⁵⁶	a

・1 寛文五年	伏原三位殿	伏原賢忠 ⁶⁴	a
・2 貞享二年	伏原大藏卿殿	宣幸 ⁴⁹	a
・3 享保四年	伏原三位殿	宣通 ⁵³	a
・4 延享四年	伏原治部少輔とのへ	宣条 ²⁸	b
・5 宝暦一二年	伏原三位殿	宣条 ⁴³	a
・6 天明七年	伏原三位家	宣光 ³⁸	a
・1 寛文五年	吉田侍従とのへ	吉田兼連 ¹³	b
・2 貞享二年	吉田左兵衛督とのへ	兼連 ³³	b
・3 享保四年	吉田二位殿	兼敬 ⁶⁷	a
・4 延享四年	吉田侍従三位殿	兼雄 ⁴³	a
・5 宝暦一二年	吉田二位殿	兼雄 ⁵⁸	a
・6 天明七年	吉田二位家	良延 ⁸³	a
・1 元和三年	祭主	藤波種忠	c
・2 寛文五年	祭主	景忠 ¹⁹	b
・3 貞享二年	藤波兵部大輔とのへ	景忠 ³⁹	a
・4 享保四年	藤波二位殿	景忠 ⁷³	a
・5 延享四年	藤波三位殿	和忠 ⁴¹	a
・6 宝暦一二年	藤波二位殿	和忠 ⁵⁶	a
・7 天明七年	藤波二位殿	季忠 ⁴⁹	a
・1 貞享二年	堀川前宰相殿	堀川則康 ⁶⁴	a

54	・1 寛文五年	久世少将とのへ	久世通音19	b
	・2 貞享二年	久世三位殿	通音39	a
	・3 享保四年	久世宰相殿	通夏50	a
53	・1 寛文五年	萩原左衛門佐とのへ	萩原員從21	b
	・2 貞享二年	萩原左衛門佐とのへ	員從41	b
	・3 享保四年	萩原民部大輔とのへ	兼武27	a
	・4 延享四年	萩原刑部卿殿	兼武55	a
	・5 宝暦一二年	萩原二位殿	兼武70	a
	・6 天明七年	萩原家	員幹48	a
52	・1 元和三年	高倉右衛門佐とのへ	高倉永慶28	b
	・2 寛文五年	高倉前中納言殿	永敦51	a
	・3 貞享二年	高倉民部大輔とのへ	永福29	b
	・4 享保四年	高倉前大納言殿	永福63	a
	・5 延享四年	高倉前大納言殿	永房60	a
	・6 宝暦一二年	高倉侍從とのへ	永範10	b
	・7 天明七年	高倉大宰大式家	永範35	a
	・2 享保四年	堀川藏丸とのへ	康行13	c
	・3 延享四年	堀川清丸とのへ	康実7	b
	・4 宝暦一二年	堀川左衛門佐	康実22	b
	・5 天明七年	堀川左京大夫家	康実47	a

58	・1 元和三年	五辻三位とのへ	五辻之仲60	a
	・2 寛文五年	五辻左馬頭とのへ	英仲12	c
	・3 貞享二年	五辻岩丸とのへ	仲賢9	c
57	・1 享保四年	東坊城三位殿	東坊城資長41	a
	・2 延享四年	東坊城前宰相殿	長誠42	a
	・3 宝暦一二年	東坊城前大納言殿	綱忠57	a
	・4 天明七年	東坊城式部大輔家	益良41	a
	・6 天明七年	藤谷右兵衛督	為敦37	a
56	・1 寛文五年	藤谷前宰相殿	藤谷為条46	a
	・2 貞享二年	藤谷三位殿	為茂32	a
	・3 享保四年	藤谷宰相殿	為信45	a
	・4 延享四年	藤谷三位殿	為香42	a
	・5 宝暦一二年	藤谷四位殿	為時	c
	・6 天明七年	藤谷四位殿	為敦37	a
55	・1 延享四年	八条中納言殿	八条隆英46	a
	・2 宝暦一二年	八条刑部大輔とのへ	隆輔27	b
	・3 天明七年	八条三位家	隆輔52	a
	・4 延享四年	久世前大納言殿	通夏78	a
	・5 宝暦一二年	久世三位殿	栄通43	a
	・6 天明七年	久世三位	通根43	a

・4 享保四年	五辻彈正少弼とのへ	広仲 33	b
・5 延享四年	五辻二位殿	広仲 61	a
・6 宝暦一二年	五辻治部卿殿	盛仲 53	a
・7 天明七年	五辻治部卿家	順仲 43	a
59			
・1 貞享二年	押小路三位殿	押小路公起 36	a
・2 享保四年	押小路三位殿	実岑 41	a
・3 延享四年	押小路前大納言殿	実岑 69	a
・4 宝暦一二年	押小路右馬権頭とのへ	実富 14	b
・5 天明七年	押小路三位家	実富 39	a
60			
・1 寛文五年	西大路少将とのへ	西大路隆卿 56	c
・2 貞享二年	西大路少将とのへ	隆平 39	c
・3 享保四年	西大路中将とのへ	隆業 39	b
・4 延享四年	西大路侍従とのへ	隆共	c
・5 宝暦一二年	西大路侍従とのへ	隆共	c
・6 天明七年	西大路三位家	隆良 32	a
61			
・1 寛文五年	河緒中将とのへ	河緒基共 32	b
・2 貞享二年	河緒前宰相殿	実陳 51	a
・3 享保四年	河緒侍従とのへ	輝季 16	b
・4 延享四年	河緒三位殿	輝季 44	a
・5 宝暦一二年	河緒少将とのへ	季満	c

・6 天明七年	河緒三位殿	実祐 30	a
62			
・1 寛文五年	西洞院少納言とのへ	時成 21	b
・2 貞享二年	西洞院宰相殿	時成 41	a
・3 享保四年	西洞院前大納言殿	時成 75	a
・4 延享四年	西洞院前少納言とのへ	時名	c
・5 宝暦一二年	西洞院備中権守とのへ	時義	c
・6 天明七年	西洞院三位殿	信庸 30	a
63			
・1 享保四年	大宮亀丸とのへ	大宮英季 6	b
・2 延享四年	大宮三位殿	英季 34	a
・3 宝暦一二年	大宮民部権大輔とのへ	貞季 20	b
・4 天明七年	大宮三位家	貞季 45	a
64			
・1 寛文五年	山本中将とのへ	山本実富 21	b
・2 貞享二年	山本前宰相殿	実富 41	a
・3 享保四年	山本宰相殿	公尹 45	a
・4 延享四年	山本前大納言殿	公尹 73	a
・5 宝暦一二年	山本前宰相殿	実根 44	a
・6 天明七年	山本前中納言家	実根 69	a
65			
・1 享保四年	高野三位殿	高野保光 46	a
・2 延享四年	高野少将とのへ	隆古	c

a a b b a b a a a a a a a b a b a a a b

a b a a a a a a b a a a a a a a a a a a

73	・1 元和三年	園侍従とのへ	基音 13	b
	・2 寛文五年	園大納言殿	基福 44	a
	・3 貞享二年	園前大納言殿	基福 64	a
	・4 享保四年	園入道前大納言殿	基勝 57	a
	・5 延享四年	園宰相殿	基望 27	a
	・6 宝暦一二	園前大納言殿	基衡 42	a
	・7 天明七年	園頭中將家	基理 30	b
74	・1 寛文五年	小川坊城大納言殿	小川坊城俊広 41	a
	・2 貞享二年	小川坊城前大納言殿	俊広 60	a
	・3 享保四年	小川坊城大納言殿	俊清 53	a
	・4 延享四年	小川坊城前大納言殿	俊将 49	a
	・5 宝暦一二	小川坊城督丸とのへ	俊親 6	b
	・6 天明七年	小川坊城頭弁	俊親 31	b
75	・1 享保四年	清水谷中將とのへ	清水谷雅季 35	b
	・2 延享四年	清水谷前大納言殿	雅孝 63	a
	・3 宝暦一二	清水谷大納言殿	実栄 41	a
	・4 天明七年	清水谷中將家	公寿 29	b
76	・1 寛文五年	中園三位殿	中園季定 39	a
	・2 貞享二年	中園前宰相殿	季定 59	a
	・3 享保四年	中園中將とのへ	季顯 21	b
	・4 延享四年	中園前宰相殿	季顯 59	a
	・5 宝暦一二	中園中將とのへ	季豐 33	b
	・6 天明七年	中園少將家	実綱 40	b
77	・1 貞享二年	石井少納言とのへ	石井行豊 33	b
	・2 享保四年	石井宰相殿	行康 47	a
	・3 延享四年	石井少納言とのへ	行忠 32	b
	・4 宝暦一二	石井宰相殿	行忠 47	a
	・5 天明七年	石井少納言家	行宣 26	b
78	・1 元和三年	竹内刑部少輔とのへ	竹内孝治 32	b
	・2 寛文五年	竹内中務大丞とのへ	惟庸 26	b
	・3 貞享二年	竹内三位殿	惟庸 46	a
	・4 享保四年	竹内三位殿	惟永 42	a
	・5 延享四年	竹内二位殿	惟永 70	a
	・6 宝暦一二	竹内彈正大弼とのへ	惟久 27	a
	・7 天明七年	竹内左馬頭家	惟栄 27	a
79	・1 元和三年	土御門左衛門佐とのへ	久脩 58	b
	・2 寛文五年	土御門福壽丸とのへ	泰福 11	b

82	・1 寛文五年 ・2 貞享二年 ・3 享保四年 ・4 延享四年	武者小路侍従とのへ 武者小路侍従とのへ 武者小路前中納言殿 武者小路少将とのへ	公種 35 実陰 25 実岳 27	c b a b
81	・1 享保四年 ・2 延享四年 ・3 宝暦一二年 ・4 天明七年	五条少納言とのへ 五条前中納言殿 五条侍従とのへ 五条少納言家	五条為範 32 為範 60 為璞 22 為徳 25	b a b b f
80	・1 寛文五年 ・2 貞享二年 ・3 享保四年 ・4 延享四年 ・5 宝暦一二年 ・6 天明七年	裏辻中将とのへ 裏辻少将とのへ 裏辻中将とのへ 裏辻四位とのへ 裏辻中将とのへ 裏辻中將家	実景 29 季盛 22 公視 実将 18 実将 33 公理 32	b c c c b b
	・7 延享四年 ・8 宝暦一二年 ・9 天明七年	上御門二位殿 上御門三位殿 上御門右衛門佐殿	泰連 63 泰邦 52 泰栄 30	a a b
	・10 天和三年 ・11 貞享二年 ・12 享保四年 ・13 延享四年	上御門兵部少輔とのへ 上御門兵部少輔とのへ 上御門兵部少輔とのへ 上御門二佐殿	泰福 29 泰福 31 泰連 35 泰連 63	b b b a

86	・ 1 元和三年	白川二位とのへ	白川雅朝63	a
85	・ 1 貞享二年	三室戸中務大輔とのへ	誠光34	b
	・ 2 享保四年	三室戸市丸とのへ	資方	c
	・ 3 天明七年	三室戸大蔵大輔	能光19	b f
	・ 6 宝暦一二二	滋野井右衛門督殿	公麗30	b
	・ 7 天明七年	滋野井少将家	公敬20	b
	・ 5 延享四年	滋野井中将とのへ	実光23	c
	・ 4 享保四年	滋野井前中納言殿	公澄50	a
	・ 3 享保四年	滋野井少将とのへ	公麗15	b
	・ 2 寛文五年	滋野井中将とのへ	実光23	c
	・ 1 元和三年	滋野井少将とのへ	滋野井冬隆32	b
84	・ 1 元和三年	滋野井少将とのへ	滋野井冬隆32	b
	・ 2 寛文五年	滋野井中将とのへ	実光23	c
	・ 3 貞享二年	滋野井中将とのへ	実光43	c
	・ 4 享保四年	滋野井前中納言殿	公澄50	a
	・ 5 延享四年	滋野井少将とのへ	公麗15	b
	・ 6 宝暦一二二	滋野井右衛門督殿	公麗30	b
	・ 7 天明七年	滋野井少将家	公敬20	b
83	・ 1 寛文五年	下冷泉少将とのへ	冷泉為元25	c
	・ 2 貞享二年	下冷泉中将とのへ	為経32	b
	・ 3 享保四年	冷泉前大納言殿	為経66	a
	・ 4 延享四年	冷泉中納言殿	宗家46	a
	・ 5 宝暦一二二	冷泉前大納言殿	宗家61	a
	・ 6 天明七年	冷泉中将家	為訓24	b f
	・ 5 宝暦一二二	冷泉前大納言殿	宗家61	a
	・ 4 延享四年	冷泉中納言殿	宗家46	a
	・ 3 享保四年	冷泉前大納言殿	為経66	a
	・ 2 貞享二年	下冷泉中将とのへ	為経32	b
	・ 1 寛文五年	下冷泉少将とのへ	冷泉為元25	c
	・ 5 宝暦一二二	武者小路宮内権大輔とのへ	公陰力	c
	・ 6 天明七年	武者小路左兵衛佐	実純力	c

95	・1 寛文五年	倉橋三位殿	倉橋泰吉 67	a
	・2 貞享二年	倉橋安藏人とのへ	泰貞 18	b
	・3 享保四年	倉橋三位殿	泰貞 52	a
	・4 延享四年	倉橋二位殿	泰貞 80	a
94	・1 享保四年	小倉前中納言殿	小倉熙季 69	a
	・2 延享四年	小倉宰相殿	宜季 38	a
	・3 宝暦一二年	小倉大納言殿	宜季 53	a
	・4 天明七年	小倉四位家	見季	c f
93	・1 寛文五年	勘解由小路治部大輔とのへ	資忠 34	b
	・2 貞享二年	勘解由小路左中弁とのへ	韶光 23	d
	・3 享保四年	勘解由小路前中納言殿	韶光 57	a
	・4 延享四年	勘解由小路兵部大輔とのへ	資望	c
	・5 宝暦一二年	勘解由小路千代丸とのへ	近光	c
	・6 天明七年	勘解由小路包丸家	資善 10	b
	・2 貞享二年	野宮侍従とのへ	定基 26	b
	・3 享保四年	野宮少将とのへ	定俊 18	b
	・4 延享四年	野宮前中納言殿	定俊 46	a
	・5 宝暦一二年	野宮中納言殿	定之 42	a
	・6 天明七年	野宮大夫	定業 29	b

99	・1 寛文五年	万里小路中納言殿	雅房 32	a
	・7 天明七年	梅溪少将家	通同	c
	・6 宝暦一二年	梅溪中将とのへ	通賢 28	b
	・3 延享四年	梅溪右京権大夫とのへ	通賢 13	b
98	・1 貞享二年	梅溪三位殿	梅溪英通 36	a
	・2 享保四年	梅溪宰相殿	通条 48	a
	・3 延享四年	梅溪右京権大夫とのへ	通賢 13	b
	・6 宝暦一二年	梅溪中将とのへ	通賢 28	b
97	・1 貞享二年	植松中将とのへ	植松雅永 32	b
	・2 享保四年	植松三位殿	雅康 33	a
	・3 天明七年	植松董丸家	文雅 17	b
	・7 天明七年	竹屋鉄丸家	光棣 7	b
96	・1 元和三年	竹屋介とのへ	竹屋光長	b
	・2 寛文五年	竹屋宰相殿	光久 41	a
	・3 貞享二年	竹屋前宰相殿	光久 61	a
	・4 享保四年	竹屋前中納言殿	光忠 58	a
	・5 延享四年	竹屋市丸とのへ	光豫 12	b
	・6 宝暦一二年	竹屋権右中弁とのへ	光豫 27	b
	・7 天明七年	竹屋鉄丸家	光棣 7	b
	・5 宝暦一二年	倉橋中務権少輔とのへ	有儀 24	b
	・6 天明七年	倉橋壽丸家	泰行 4	b

102	・ 1 元和三年	調子筑後守とのへ	武通力武政力	e
	・ 2 貞享二年	万里小路中納言殿	淳房 34	a
	・ 3 享保四年	万里小路中納言殿	尚房 38	a
	・ 4 延享四年	万里小路大納言殿	植房 43	a
	・ 5 宝暦一二年	万里小路前大納言殿	植房 58	a
	・ 6 天明七年	万里小路前大納言家	政房 59	a
100	・ 1 寛文五年	久我殿	久我広通 40	a
	・ 2 貞享二年	久我大納言殿	通誠 26	a
	・ 3 享保四年	久我殿	惟通 33	a
	・ 4 延享四年	久我殿	通兄 39	a
	・ 5 宝暦一二年	久我中将殿	信通 19	a
	・ 6 天明七年	久我家	信通 44	a
101	・ 1 元和三年	上山駿河守殿	上山武久	e
	・ 2 寛文五年	上山駿河守とのへ	武慶	e
	・ 3 貞享二年	上山淡路守とのへ	武徳	e
	・ 4 享保四年	上山駿河守とのへ	武屋	e
	・ 5 延享四年	上山淡路守とのへ	武真	e
	・ 6 宝暦一二年	上山淡路守とのへ	武真	e
	・ 7 天明七年	上山淡路守	武辰	e

	・ 2 寛文五年	調子筑後守とのへ	武忠	e
	・ 3 貞享二年	調子右近将曹とのへ	武有	e
	・ 4 享保四年	調子筑後守とのへ	武員	e
	・ 5 延享四年	調子筑後守とのへ	武弘	e
	・ 6 宝暦一二年	調子佐渡守とのへ	武弘	e
	・ 7 天明七年	調子筑後守	武敬	e
103	・ 1 天明七年	(花園少将殿)	花園実章	f
104	・ 1 天明七年	(正親町三条少将殿)	正親町三条公則	f

本来、当主のみ表示すべきであるが、『公卿補任』で同じ家に複数名あり、位階・役職の表示ない場合、当主を特定せず、そのまま連名とした。

101 土山、102 調子の両家は近衛府隨身として、歴代が六位に初叙され五位に進み、左右の将曹、将監に任命されている。
(『地下家伝』)

六 親王・宮方の所領分布

親王・宮方の所領分布を見ておく。『親王宮方 御判物・御黒印・御朱印』に収められた天明七年三月または四月の文書にもとづく。

『旧高田領取調帳 近畿編』（木村礎校訂、昭和五〇年近藤出版社）では、明治元年現在の山城・大和・河内・摂津・近江・丹波国の取調旧高を記録している。これと『親王宮方 御判物・御黒印・御朱印』に記された天明七年の所領高を比較して一致する場合は○を、数値が異なる場合は＊を付した。数字の末尾に「余」としている場合には端数の省略とみなして○を付した。村の名が変わっている場合は「―」で新村名を示した。

摂津国西成郡			
堀上村	二六〇石八斗四升七合	1閑院宮	○
南宮原村	三三二石二斗六升九合	1閑院宮	○
摂津国嶋下郡			
西蔵垣内村	二一九石 一升三合	1閑院宮	○
丑寅村	二一四石七斗八升七合	1閑院宮	○
山城国葛野郡			

安養寺村	三三五石八斗六升二合五勺 ² 有栖川宮	○
太秦村之内	六六四石三斗三升七合 ² 有栖川宮	○
聚楽廻之内	三一五石七斗余 [*]	○
西京村之内	五石三斗余	○
西京之内	六〇石三斗 [*]	○
西京村	四石六斗一升 [*]	○
朱雀村之内	九斗余	○
西院村之内	五石四斗余 [*]	○
同村	四石六斗余	○
同村	二六石五斗二升	○
同村	四石九斗六升	○
同村之内	一石余	○
同村之内	四石	○
川勝寺村	九六七石三斗余 [*]	○
下桂村	一一一二石五斗余 [*]	○
徳大寺村	三一一石五斗余 [*]	○
同村之内夙村	五石 [*]	○
御陵村	一六三石余	○
福土寺村	二三八石九斗 [*]	○
鳴瀧村之内	五二石六斗余 [*]	○
梅畑村之内	三一石八斗余 [*]	○
谷村	六〇石八斗余 [*]	○
常盤村	六六石五斗余 [*]	○

資 料

窪村	二九石三斗余 *	5 仁和寺宮	花園村	一二七石五斗余 *	19 安井門跡
中野村	一五二石八斗 * 「中村」	5 仁和寺宮	千本廻之内	一五石八斗余 *	3 伏見宮
河端村之内	三三石二斗	5 仁和寺宮	千本廻之内	五九石二斗五升八合六夕一才 * 6 青蓮院宮	
等持院門前	二四石九斗 *	5 仁和寺宮	粟田口村之内	一九三石六斗七升八合三夕二才 * 6 青蓮院宮	
池上村	一〇石九斗	5 仁和寺宮	岡崎村之内	一〇石一斗七升九合三夕 * 6 青蓮院宮	
壬生村之内	四〇二石一斗七升二合	6 青蓮院宮	田中村之内	九斗二升 *	6 青蓮院宮
同 村之内	一石	35 聖院	田中村之内	一四石五斗余	10 聖護院宮
中堂寺村之内	三石二斗五升三合 *	6 青蓮院宮	鹿谷村之内	一二石二斗八升九合八夕四才 * 6 青蓮院宮	
中堂寺村	一二石九斗三升三合	24 歡喜寺	鹿谷	九五石	8 妙法院宮
東塩小路村之内	一一一石八斗六升	8 妙法院宮	浄土寺村之内	一石八斗五升一合七夕五才 * 6 青蓮院宮	
牛箇瀬村	二〇〇石四斗 *	8 妙法院宮	大原	九三石二斗九升「上野村」	8 妙法院宮
朝原村之内	三二八石八斗	8 妙法院宮	大仏廻り柳原兵	二一四石九斗四升 *	8 妙法院宮
谷山田村之内	二石五斗 「下山田村」	9 蓮華王院	清閑寺村之内	八石四斗	9 蓮華王院
北山松原村之内	一石六斗余 * 「松原村」	12 華臺院	聖護院村	四二二石四斗余 *	10 聖護院宮
上下嵯峨村	七三八石六斗八升八合 *	16 大覺寺門跡	長谷村之内	四七六石一斗余 *	10 聖護院宮
上嵯峨地子分	一六〇石 *	16 大覺寺門跡	白川村之内	一一六石余	10 聖護院宮
上嵯峨村	七五石	21 大聖寺	白河村之内	一〇〇〇石	11 照高院宮
天龍寺門前	一二石二斗八升四合	16 大覺寺門跡	白川村之内	三石	27 光照院宮
小溝村内	四石七斗四升六合五夕	16 大覺寺門跡	北大原来迎院村之内	九三石四斗 *	15 梶井宮
池裏村	一〇四石三斗一升二合	16 大覺寺門跡	同 勝林院村之内	一四六石六斗 *	15 梶井宮
山城国愛宕郡			同 大長瀬村之内	五〇石 *	15 梶井宮
花園村之内	七石二斗余	3 伏見宮	同 御境内	二二三石四斗 *	18 三宝院門跡
		〇	久多郷	六〇石	×

同 郷	六〇石	18 醍醐寺	×
賀茂村	六〇石	18 醍醐寺	×
西賀茂村	二三四石	21 大聖寺	○
同 村之内	一九石五斗余	32 宝慈院	○
幡枝村	一七二石四斗三升	19 安井門跡	○
三条千本迄之間	一石三斗余	20 真性寺	○
建仁寺廻り	九斗余	20 真性寺	×
下鴨村	三五石	23 本光院	○
二条御城廻三条台	一石二斗三升七合	24 歆喜寺	○
吉田村	一石余	26 摂取院	○
修学院村之内	三〇〇石	28 林丘寺宮	○
松ヶ崎村之内	三〇石 *	31 總持院	○
天部村之内	三斗余	32 宝慈院	○

山城国紀伊郡

東九條村之内	一八石三斗六升五合 *	6 青蓮院宮	○
吉祥院村之内	五二石八斗余	3 伏見宮	○
同 村之内	一九石三斗	10 聖護院宮	○
同 村之内	四石	14 圓満院宮	○
同 村之内	一〇石七斗余	15 梶井宮	○
同 村	一三石二斗	16 大覚寺門跡	○
同 村	二三石	21 大聖寺	○
同 村之内	八四石六斗	30 三時智恩寺	○

山城国宇治郡

同 村之内	一二石八斗	31 總持院	○
同 村之内	四一石一斗余	32 宝慈院	○
竹田村之内	七四〇石四斗余 *	5 仁和寺宮	○
同 村之内	三〇〇石	15 梶井宮	○
深草村之内	三一石 *	36 養林菴	○

山城国宇治郡

山科郷厨子奥山之内 八石 五升 一夕八才

山科郷四宮村之内 四石五斗 30 三時智恩寺

勧修寺村 一〇〇石 18 三寶院門跡

同 村 五二五石三斗余 *

小野村 一五五石八斗余 *

日野村 四九〇石 18 醍醐寺

醍醐村 二七〇石 *

同 村 一四五〇石二斗余 *

西笠取村 七六石八斗余 *

同 村 三一九石四斗余 *

東笠取村 二七四石二斗 *

炭山村 二三〇石 *

山城国乙訓郡

上久世村之内	三石三斗余	3 伏見宮	○
同 村	二七石	23 本光院	○

資 料

同 村	六石	25 慈雲院	○	同 村	四〇七石六斗 *	18 醍醐寺	○
同 村之内	六〇石	30 三時智恩寺	○	山城国相楽郡			
同 村之内	三三石	31 総持院	○	相楽村之内	二三〇石	27 光照院宮	○
同 村之内	六八石	33 繼孝院	○				
同 村	四〇石	34 瑞花院	○	大和国廣瀬郡			
同 村之内	二〇石	35 恵聖院	○	百濟村之内	二〇〇石	6 青蓮院宮	×
久世村之内	九五石	27 光照院宮	○				
鶏冠井村之内	五〇石	3 伏見宮	○	大和国平群郡			
今里村之内	二六九石四斗余	3 伏見宮	○	菅田村之内	三〇〇石	6 青蓮院宮	○
同 村	五八石	23 本光院	×	服部村之内	二〇〇石	14 圓満院宮	○
下海印寺村	二一四石八斗余	3 伏見宮	○	法隆寺村之内	四六石二斗余	29 中宮寺宮	○
金ヶ原村	六〇石六斗余	3 伏見宮	○				
上植野村之内	一二二石五	6 青蓮院宮	○	大和国添上郡			
同 村之内	二二三石九斗余	10 聖護院宮	○	西九條村	七四六石二斗六升八合	7 一乘院宮	○
同 村之内	二〇石	13 積善院	○	井戸野村	六四八石七斗六升三合	7 一乘院宮	○
同 村之内	一四〇石	15 梶井宮	○	櫛本村	九七石六斗七升	7 一乘院宮	○
同 村	二五石五斗	18 三寶院門跡	○	美濃庄村之内	九一四石	17 大乘院門跡	○
同 村	二一五石五斗	18 醍醐寺	×	奈良町中地子分	一六石	17 大乘院門跡	×
寺戸村之内	五八九石二斗八升	8 妙法院宮	*	山村之内	三〇〇石 [新古山村]	22 圓照寺	○
・開田村	四四七石二斗余	4 京極宮	*				
山城国綴喜郡				近江国滋賀郡			
大住村	一一七石六斗 *	18 三寶院門跡		藤尾村之内	一二〇石	10 聖護院宮	○

南志賀村之内二二五石
六太村之内 二〇〇石

14圓満院宮 ○
14圓満院宮 ○

丹波国桑田郡

比賀江村之内三〇〇石

15梶井宮 ○

天明七年三月に、摂津国では、比較的に新しく立てられた
1閑院宮家の西成郡二村五八三石一斗一升六合及び嶋下郡二村
四三石八斗、計一〇一七石九斗一升六合のみである。

他はすべて天明七年四月当時であり、山城国の葛野郡・愛
宕郡・紀伊郡・宇治郡・乙訓郡が中心である。なかでも宇
治郡の山科盆地と後背の東の山中はもっぱら地元の醍醐寺領が
圧倒的に多い。

同じ山城国でも、南山城の綴喜郡では大住村に醍醐寺・三
宝院門跡領あわせて五二五石二斗、相楽郡では相楽村之内に光
照院宮領が二三〇石あるのみである。

醍醐寺・三宝院門跡領は天明七年の高と明治元年の旧高が大
きく異なっている所が多い。たとえば、山城国愛宕郡の久多
郷六〇石（18三宝院門跡）、同郷六〇石・賀茂村六〇石（18
醍醐寺）は村名もふくめて明治元年の記録に見られない。山
城国宇治郡の勧修寺村一〇〇石（18三宝院門跡）、日野村四
九〇石（18醍醐寺）は合致し、小野村二五五石八斗余（18醍
醐寺）は明治元年に二一五石八斗五升一合二タとみえるのは誤

記ではなかるうか。東笠取村二七四石二斗（18醍醐寺）は明
治元年には理性院領一五四石二斗、醍醐寺領五〇石、竜光院
領四〇石、理性院領岩間寺分三〇石に分割されている。ここ
までは合致例とみなせるが、他は大きく異同する。まず勧修
寺村五二五石三斗余（18醍醐寺）は明治元年には三五一石九
斗五升六合とあり、醍醐村二七〇石（18三宝院門跡）は二八
九石七斗五升二合に、同村一四五〇石二斗余（18醍醐寺）は
明治元年には醍醐寺領一〇二七石四斗、理性院領一二五石八
斗、無量寿院領二七石と変わっている。西笠取村七六石八斗
余（18三宝院門跡）は明治元年には七九石二斗五升九タ八才
に、同村二九石四斗余（18醍醐寺）は明治元年には報恩院
領一五〇石、醍醐寺領五〇石、理性院領岩間寺分四石四斗八
合に変わっている。また炭山村二三〇石（18醍醐寺）も明治
元年には醍醐寺領一八九石一斗二升七合とあり、別に三宝院領
一六石二斗二升五合一タ四才が記されている。山城国乙訓郡上
植野村二五石五斗（三宝院門跡）は明治元年と合致するが、
同村二二五石五斗（18醍醐寺）は明治元年には見えない。山
城国綴喜郡大住村一一七石六斗（18三宝院門跡）は、明治元
年には二一八石一斗一升五合に、同村四〇七石六斗（18醍
醐寺）は明治元年には二九〇石と大きく変化している。この間
の事情については、あらためて調べてみたい。

大和国には6青蓮院宮が廣瀬郡百済村之内に二〇〇石、平群
郡菅田村之内に三〇〇石を有し、14圓満院宮が平群郡服部村之

内に二〇〇石を有するほかは、すべて大和国内に所在する門跡が有する所領である。7一乗院宮が添上郡三村に一四九二石七斗一合を、17大乘院門跡が添上郡に九三〇石を、22圓照寺が地元の添上郡山村之内に三〇〇石を、29中宮寺宮が平群郡法隆寺村之内に四六石二斗余を有している。明治元年には7一乗院宮領は水谷川家領として、17大乘院門跡領は松園家領として記されている。

近江国では滋賀郡に10聖護院宮が藤尾村之内に一二〇石、また地元所在の14圓満院宮が二村四一五石を有し、丹波国には15梶井宮が桑田郡比賀江村之内に三〇〇石を有するのみである。なお山城国葛野郡の8妙法院宮領・朝原村之内三二八石八斗、¹²華臺院領・北山松原村之内一石六斗余については、明治元年段階を明らかにできていない。

『旧高旧領取調帳 近畿編』の明らかな誤記としては、山城国愛宕郡の白河村「照光院領 一〇〇〇〇・〇〇〇〇」は「照高院領 一〇〇〇・〇〇〇〇」とすべきであり、山城国乙訓郡の石倉村「下山武宗知行」は「上山武宗知行」とすべきである。同郡の今里村「本覚院領」は「本光院領」とすべきであろう。山城国宇治郡の小野村醍醐寺領の石高は、すでに記したように誤記ではなからうか。

七 堂上家所領の分布

次に堂上家について見ておこう。村の配列順は、明治元年當時を示す木村礎編『旧高旧領取調帳 近畿編』に倣い、同所に見られない村名はその後に配した。石高が合致する場合は○、異同ある場合については*を付し、欠落している場合は×を付した。ただし石高の微細な異同の場合は、*を付した上で、ほぼ合致すると見なせば○を付した。余」と端数を略している場合は、以下の数値は合っているとみなした。・を付したのは、郡名を異にしていた村である。村名の下は*は、村名に異同あることを示す。「内は明治元年当時の村名である。

山城国愛宕郡			
吉田村之内	五九三石	49 吉田家	○
吉田村之内	一斗余	58 五辻家	×
岡崎村之内	四五一石六斗二升四合三タ* 2 一条殿		○
岡崎村御代地三ヶ所二	四石七斗八升六合一タ 2 一条殿		○
岡崎村之内	一四石五斗六升四合八タ 60 西大路家		○
聖護院村之内	四石五斗 68 富小路家		×
田中村之内	一六石四斗四升七合 2 一条殿		○
田中村之内	三〇石 29 松木家		○
田中村之内	四〇石五斗余 30 日野家		○

田中村之内	七六石	57 東坊城家	○
田中村之内	一石	7升四合 60 西大路家	○
田中村之内	四三石	8升 94 小倉家	○
浄土寺村之内	一〇石四斗三升五合二夕	9 德大寺家	○
一乘寺村之内	三石	3 近衛殿 不斷光院領	○
一乘寺村之内	二二石余	5 九条殿	○
一乘寺村之内	二〇〇石	18 冷泉家	○
一乘寺村之内	一〇〇石	21 鷲尾家	○
一乘寺村之内	一〇〇石	22 清閑寺家	○
一乘寺村之内	一〇〇石 *	24 難波家	○
一乘寺村之内	六〇石	25 櫛笥家	○
一乘寺村之内	六〇石	33 藪家	○
一乘寺村	七九石 *	38 高辻家	○
一乘寺村	九〇石九斗余 *	51 堀川家	○
一乘寺村之内	五〇石 *	62 西洞院家	○
一乘寺村之内	二七石九斗余	68 富小路家	○
一乘寺村之内	二〇〇石	71 山科家	○
一乘寺村之内	一〇〇石	74 小川坊城家	○
一乘寺村	一〇〇石	84 滋野井家	○
一乘寺村之内	五〇石	99 万里小路家	○
鹿谷村之内	五〇石	68 富小路家	○
今熊野村之内	一九石八斗余	72 岩倉家	○
紫竹村之内 *	五〇石七斗	28 三条西家	○

紫竹村之内 *	四五石九斗余 *	31 柳原家	○
紫竹・大門・上野村之林分 *	一八石 *	31 柳原家	○
大門村之内 *	一八石五斗余 *	31 柳原家	○
雲林・上野・紫竹・大門四箇村之内 *	三〇石	62 西洞院家	○
千本廻之内	一五石四斗九升七合三夕 *	2 一条殿	○
千本廻之内	二五石三斗余 *	19 広橋家	○
千本廻之内	三斗五升六合	26 橋本家	○
千本村之内	一一石三斗余	68 富小路家	○
千本廻之内	三斗八升七合	46 梅園家	○
千本廻之内	二石五斗六升四合	60 西大路家	○
西賀茂村之内	五六石一斗	4 二条殿	○
西鴨村之内	一三石 *	50 藤波家	○
下鴨村	三六石七斗七升	103 花園家	○
同村川原畑	一七石七斗七升二合	103 花園家	○
小山村之内	四四石	83 冷泉家	○
松ヶ崎村之内	二五二石一斗余	5 九条殿	○
松ヶ崎村之内	五〇石	26 橋本家	○
松ヶ崎村之内	五〇石	39 東園家	○
花園村之内	一八石八斗余	19 広橋家	○
花園村之内	八四石	20 中院家	○
花園村之内	一五石	62 西洞院家	○

花園村之内	一〇石五斗八升余	90今城家	○
幡枝村之内	一一六石	20中院家	○
上野村之内	一石七斗	31柳原家	×
市原野村之内	五三石 *	16油小路家	○
静原村之内	一〇一石七斗余	5九条殿	○
土橋村之内	一石六斗余	68富小路家	
福栄村之内	三〇石	6大炊御門殿	
山城国葛野郡			
西院村之内	二二石余	7西園寺殿	○
西院村之内	五石二斗余	19広橋家	*
西院村之内	五石	62西洞院家	○
西院村之内	二石三斗余	68富小路家	○
西院村之内	一〇石	79上御門家	○
西京村之内	二石余	19広橋家	○
西京村之内	五三石余	81五条家	○
壬生村之内	八石二斗五升	2一条殿	○
壬生村之内	一〇〇石八斗 *	4二条殿	○
壬生村之内	一四九石六斗八升	26橋本家	○
壬生村之内	一四九石六斗六升六合九夕	16梅園家	○
壬生村之内	二石一斗	68富小路家	○
山内村之内	一五〇石	49吉田家	○
郡村之内	一二石六斗余	15正親町家	○
郡村之内	一〇〇石	23四条家	○
郡村之内	六四石	33藪家	○
郡村之内	七石四斗余	39東園家	○
郡村之内	一〇五石	47持明院家	○
郡村之内	三石六斗余	67樋口家	○
郡村之内	二〇石	73園家	○
八条村之内	二一石 *	33藪家	○
八条村之内	一一〇石 *	44四辻家	○
八条村之内	五八石八斗余 *	58五辻家	○
中堂寺村之内	一一八石四斗余	31柳原家	○
西七条村之内	一〇石	72岩倉家	○
朱雀村之内	三〇石	11花山院家	○
朱雀村	一〇石	38高辻家	○
朱雀村之内	二五石余	39東園家	○
朱雀村之内	四〇石二斗二升	40千種家	○
朱雀村	四〇石	72岩倉家	○
朱雀村之内	五斗三升余	81五条家	○
朱雀村之内	三〇石	99万里小路家	○
梅小路村之内	四九石六斗余	25櫛笥家	○
梅小路村之内	二〇石	29松木家	○
梅小路村之内	三二石九斗余	50藤波家	○
梅小路村之内	八六石九斗余 *	73園家	○

梅小路村之内	七二石余	78 竹内家	○	上桂村之内	二〇〇石	89 日野西家	○
梅小路村之内	八〇石 *	79 土御門家	○	上桂村	二石八斗七升八合	103 花園家	○
唐橋村之内	五〇石	16 油小路家	○	上桂村	一〇〇石	38 高辻家	○
唐橋村	二石 *	40 千種家	?	上野村	二一〇石 *	52 高倉家	○
唐橋村之内	五〇石	80 裏辻家	○	下山田村之内	一三八石六斗	9 徳大寺家	○
唐橋村之内	五〇石	91 七条家	○	下山田村之内	九五石	14 葉室家	○
唐橋村之内	五〇石	95 倉橋家	○	下山田村之内	四石六斗余	58 五辻家	○
御所内村之内	三八石	14 葉室家	○	上山田村之内	一〇五石六斗	17 中山家	○
御所内村之内	四一石四斗余	29 松木家	○	谷山田村之内	* 五〇石 *	28 三条西家	○
御所内村之内	八〇石	62 西洞院家	○	谷山田村之内	* 四四石 *	35 甘露寺家	○
御所内村之内	六〇石四斗二升	81 五条家	○	谷山田村之内	* 六六石 *	86 白川家	○
御所内村之内	一〇〇石	90 今城家	○	谷山田村之内	* 六五石 *	87 中御門家	○
川嶋村之内	五三〇石七斗	1 鷹司殿	○	東梅津村之内	一九〇石四斗	19 広橋家	○
川嶋村之内	一八〇石	96 竹屋家	○	東梅津村之内	二六八石四斗余	34 勸修寺家	○
岡村之内	二石一斗九升	60 西大路家	○	西梅津村之内	八八石一斗余	19 広橋家	○
岡村之内	五石五斗余	61 河鱈家	○	梅津村之内	二九八石一斗 *	30 日野家	○
岡村之内	九六石三斗余	67 樋口家	○	嵯峨村之内	一〇六石五斗 *	32 烏丸家	○
岡村之内	七二石一斗五升七合	72 岩倉家	○	嵯峨村之内	二二五石 *	88 阿野家	○
下津林村	六石四斗	9 徳大寺家	○	池裏村之内	五〇石 *	32 烏丸家	○
下津林村之内	一四九石六斗余	19 広橋家	○	池裏村之内	五四石 *	52 高倉家	○
下津林村之内	二五三石	30 日野家	○	原村之内	六四石 *	19 広橋家	○
上桂村之内	四四石二斗六升	27 唐橋家	○	越畑村之内	五五石三斗余	65 高野家	○
上桂村之内	二〇〇石	28 三条西家	○	鳴滝村之内	四六石余	61 河鱈家	○



C

○

C

○

O

○

0

○

○

0

0

○

○

C

9

○ ○

C

9

○ ○

CC

○ ○

C

2

○ ○

20

00

99

20

CC

CC

CC

CC

CC

00

CC

C

鷄冠井村之内	二一五石	57 東坊城家	○	上植野村之内	四七石	16 油小路家	○
鷄冠井村之内	五〇石四斗 *	58 五辻家	○	上植野村之内	一八〇石	36 姉小路家	○
鷄冠井村之内	五〇石	73 園家	○	上植野村之内	八〇石三斗四升	60 西大路家	○
鷄冠井村之内	五〇石	79 上御門家	○	上植野村之内	二斗八升	75 清水谷家	○
鷄冠井村之内	五〇石	81 五条家	○	馬場村之内	七三石九斗	5合 75 清水谷家	○
鷄冠井村之内	五〇石	104 正親町三条家	○	馬場村之内	九四石九斗余	91 七条家	○
鷄冠井村之内	一〇五石	18 冷泉家	○	開田村之内	二〇石	25 櫛笥家	○
西上川村之内	一〇〇石	27 唐橋家	○	開田村之内	七〇三石五斗 *	5 九条殿	○
西上川村之内	五五石七斗四升	37 綾小路家	○	調子村	四七石三斗余 *	15 正親町家	○
西上川村之内	一〇〇石	61 河鱒家	○	西岡調子村之内	七〇石	102 調子家	○
西上川村之内	三五石余	71 山科家	○	下植野村之内	二七〇石 *	10 菊亭家	○
西之岡白井村之内	一〇〇石	101 上山家	○	下植野村之内	八七石余	35 甘露寺家	○
寺戸村之内	三六石六斗五合六夕 ² 一条殿	2一条殿	○	下植野村之内	九〇石	44 辻家	○
寺戸村之内	二〇〇石	28 三条西家	○	下植野村之内	五〇石	47 持明院家	○
寺戸村之内	九二石五斗余	37 綾小路家	○	下植野村之内	八六石余	58 五辻家	○
寺戸村之内	八三石三升五合	69 平松家	○	下植野村之内	五〇石	86 白川家	○
寺戸村之内	三〇石	73 園家	○	山崎庄之内	一一石八斗	78 竹内家	○
寺戸村之内	二〇石	79 上御門家	○	井内村之内	四七石七斗四升五合 ¹ 鷹司殿	81 五条家	○
寺戸村之内	一〇〇石	80 裏辻家	○	井内村之内	一〇五石 *	10 菊亭家	○
寺戸村之内	一六石九斗六升五合	* 94 小倉家	○	井内村之内	八〇石	23 四条家	○
寺戸村之内	一〇〇石	95 倉橋家	○	井内村之内	三〇石五斗余	48 伏原家	○
上植野村之内	五八石五斗	一合 12 醍醐家	○	井之内村之内	七五石四斗一升	17 中山家	○

今里村之内	一〇〇石	6 大炊御門家	〇
今里村之内	一〇四石	7 西園寺殿	〇
今里村之内	五〇石	8 転法輪家	〇
今里村之内	一〇五石	11 花山院家	〇
今里村之内	五八石	14 葉室家	〇
今里村之内	九石	21 鷺尾家	〇
今里村之内	一〇〇石	29 松木家	〇
今里村之内	八〇石	62 西洞院家	〇
奥海印寺村之内	一一四石四斗八升五合	鷹司殿	〇
奥海印寺村之内	一〇四石五斗二升四合	* 12 醍醐家	〇
奥海印寺村之内	五〇石	43 庭田家	〇
灰方村之内	八二石五斗	27 唐橋家	〇
石見上里村之内	三四石九斗	6 大炊御門家	〇
石見上里村之内	四五石五斗	35 甘露寺家	〇
石見上里村之内	一〇〇石	68 富小路家	〇
石見上里村之内	四五石八斗	78 竹内家	〇
石見上里村之内	三七石七斗	86 白川家	〇
石見上里村之内	三五石	87 中御門家	〇
岩見上里村	四五石	104 正親町三条家	〇
坂本村之内	一七石一斗余	36 姉小路家	〇
坂本村之内	五七石二斗余	61 河鱈家	〇
西坂本村之内	一五〇石	29 松木家	〇
下坂本村	二七石一斗二升二合	103 花園家	〇

小塩村	三五六石六斗余	11 花山院家	〇
大原野村之内	二〇〇石	7 西園寺家	〇
大原野村之内	二〇〇石	19 広橋家	〇
大原野村之内	二一石八斗余	34 勧修寺家	〇
大原野村之内	一〇〇石	67 樋口家	〇
大原野村之内	一〇石二斗余	78 竹内家	〇
香掛村之内	七五石七斗余	65 高野家	〇
山城国紀伊郡 塔森村	一五石四斗五升八合	103 花園家	〇
下鳥羽村之内	六四七石五斗	* 10 菊亭家	〇
芹川村之内	五〇石	11 花山院家	〇
芹川村之内	四二石五斗余	39 東園家	〇
下三栖村之内	八石七斗余	86 白川家	〇
下三栖村之内	五八石	87 中御門家	〇
中嶋村之内	二〇〇石	8 転法輪家	〇
吉祥院村之内	二二九石五斗五升	2 一条殿	〇
吉祥院村之内	五五石二斗	3 近衛殿御靈殿領	〇
吉祥院村之内	三五石一斗	6 大炊御門家	〇
吉祥院村之内	一石	7 西園寺家	〇
吉祥院村之内	一九石五斗	8 転法輪家	〇
吉祥院村之内	三石三斗	10 菊亭家	〇
吉祥院村之内	四五石	11 花山院家	〇

吉祥院村之内	四二石六斗	15 正親町家	石原村之内	八〇石	74 小川坊城家
吉祥院村之内	六四石八斗	19 広橋家	石原村之内	八〇石	84 滋野井家
吉祥院村之内	一石五斗余	28 三条西家	竹田村之内	五石 *	42 六条家
吉祥院村之内	三〇四石	30 日野家	竹田村之内	二九石二斗余	48 伏原家
吉祥院村之内	一八石	32 烏丸家	竹田村之内	四八〇石 *	52 高倉家
吉祥院村之内	五石	34 藪家	東福寺廻之内	五石余	91 七条家
吉祥院村之内	二七石七斗	34 勧修寺家	東福寺廻之内	三九石九斗五升五合	94 小倉家
吉祥院村之内	一四石四斗余	35 甘露寺家	深草村之内	六二三石九斗余	5 九条殿
吉祥院村	一一石	38 高辻家	深草村之内	六石二斗余	86 白川家
吉祥院村之内	一四石六斗余	49 吉田家	深草村之内	四二石 *	87 中御門家
吉祥院村之内	三六石二斗	50 藤波家	東九條村之内	一五〇石	1 鷹司殿
吉祥院村之内	一八石七斗余	52 高倉家	東九條村之内	一〇八石五斗九升三合二一条殿	4 二条殿
吉祥院村之内	九石四斗余	78 竹内家	東九條村之内	五二〇石 *	5 九条殿
吉祥院村之内	一七石六斗	79 土御門家	東九條村之内	三四〇石	7 西園寺家
吉祥院村之内	三一石三斗	86 白川家	東九條村之内	二七〇石	9 德大寺家
吉祥院村之内	五石七斗三升	90 今城家	東九條村之内	二〇〇石	11 花山院家
吉祥院村之内	四石 七升	99 万里小路家	東九條村之内	一八石六斗	39 東園家
吉祥院村	五〇石	104 正親町三条家	東九條村之内	四石九斗余	40 千種家
嶋村之内	八二石七斗七升	1 鷹司殿	東九條村	九石七斗八升	43 庭田家
嶋村之内	四〇石二斗余	48 伏原家	東九條村之内	一四六石 *	
石原村之内	七一石	21 鷺尾家			
石原村之内	八〇石	22 清閑寺家			
石原村之内	八〇石	24 難波家			
			山城国宇治郡 岡屋村	三七八石五斗余 *	3 近衛殿

木幡村之内植出 二五三石九斗余 * 88阿野家

山城国久世郡

久世村之内 三〇石 * 76中園家

平川村之内 八八石五斗九升四合 12醍醐家

枇杷庄村 三九四石八斗余 3近衛殿

観音堂村之内 五一石二斗一升六合 * 12醍醐家

観音堂村之内 一二〇石 24難波家

上津屋村之内 一二〇石 * 6大炊御門殿

上津屋村之内 二〇〇石 * 8転法輪家

山城国綴喜郡

内里村之内 一三〇石 45壬生家

内里村 一三〇石 59押小路家

内里村之内 一三〇石 70愛宕家

内里村之内 一三〇石 85三室戸家

内里村之内 一三〇石 97植松家

田辺村之内 一〇〇石 [河原村] 98梅溪家

南田辺村之内 九四石 64山本家

市辺村之内 一五〇石 * 55八条家

八幡郷之内 二七石六斗余 * 78竹内家

山城国相楽郡

林村之内 五六石 83冷泉家

菅井村之内 五〇石 66裏松家

菅井村之内 二三〇石 77石井家

菅井村之内 五〇石 92野宮家

菅井村之内 五〇石 93勘解由小路家

吐師村之内 二五石二斗余 98梅溪家

小寺村之内 二一石一斗九升五合 2一条殿 48伏原家

小寺村之内 五〇石 83冷泉家

千童子村之内 一〇四石七斗余 48伏原家

千童子村之内 一三〇石 63大宮家

千童子村之内 五六石 64山本家

千童子村之内 八〇石 66裏松家

千童子村之内 一〇〇石 76中園家

千童子村之内 一三〇石 82武者小路

千童子村之内 一〇〇石 92野宮家

千童子村之内 八〇石 93勘解由小路家

鹿背山村之内 二八八石八斗五合 2一条殿

大和国添上郡

中庄村 三四二石三斗 * 4二条殿

河内国茨田郡

門真庄一番村之内	三〇〇石	10 菊亭殿	×
河内国交野郡 渚村之内	一四石八斗余	30 日野家	×
河内国志紀郡 弓削村之内	五〇〇石 *	100 我家	
摂津国嶋上郡 広瀬村之内	六三一石五斗	41 水無瀬家	○
上牧村之内	七〇〇石 *	32 烏丸家	○
磯嶋村之内	二四三石二斗余	30 日野家	○
摂津国河辺郡 万陀羅寺村	一六六石五斗一升一合	3 近衛殿	○
伊丹村之内	一二〇三石七斗余	3 近衛殿	
伊丹村之内	八三三石四斗八升三合	3 近衛殿 *	
近江国滋賀郡 山中村	一八〇石八斗余	4 二条殿	○
見世村之内	九一石余	4 二条殿	○
近江国蒲生郡			

長田村之内	三〇〇石	10 菊亭殿	○
近江国野洲郡 南桜村之内	五〇〇石 *	13 広幡家	
丹波国桑田郡 細川村	三九九石四斗余	4 二条殿	○
田尻村	一八石一斗余	4 二条殿	○
丹波国氷上郡 上垣村之内	三五九石余 *	53 萩原家	○
中竹田村之内	六三四石七斗余 *	53 萩原家	
同村新田之内	六石二斗余 *	53 萩原家	
<p>堂上家の所領は、ほとんどが山城国内、それも北寄りの愛宕郡、葛野郡、乙訓郡、紀伊郡に集中していることが明らかである。他の宇治郡、久世郡、綴喜郡、相楽郡は限られた村にしか見られない。まして、山城国以外では、摂家のうち近衛家が領地の振替で摂津国伊丹町周辺を得た他は、二条家の所領が大和・近江・丹波国に見える。その他の河内・摂津・近江・丹後国の各家所領の由緒については未だ調べていない。中世から近世初頭に至るまでの各家の所領変遷については、将来の課題として。</p>			

執筆者紹介

山代義雄	大阪経済法科大学法学部	教授	(行政法)
澤野義一	同	教授	(憲法)
中川孝博	同	助教授	(刑事訴訟法)
村下博	同	教授	(社会法)
林毅	同	客員教授	(西洋法制史)
田中嗣久	同	講師	(民法)
橋本久	同	教授	(日本法制史)
牧田勲	摂南大学法学部	助教授	(日本法制史)
山田勉	神戸女子短期大学	助教授	(日本法制史)

(執筆順)